

Center for Student Support



三重大学
学生総合支援センター

2018年度
報告書



目次

I 学生総合支援センター

- ・組織図…………… 01
- ・学生総合支援センター会議 委員名簿…………… 02
- ・学生委員会 委員名簿…………… 02

II 学生生活支援室

- ・活動報告…………… 03
- ・奨学生数…………… 05
- ・学部別外国人留学生数…………… 06
- ・国籍別外国人留学生数…………… 07
- ・入学料免除者数…………… 08
- ・授業料免除者数…………… 09
- ・学生寄宿舎入寮許可状況…………… 10
- ・学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険加入者数…………… 11
- ・第67回東海地区国立大学体育大会成績結果…………… 12
- ・クラブ・サークル一覧(体育系・文化系)…………… 13

III 障がい学生支援室

- ・活動報告…………… 15
- ・三重大学障がい学生支援セミナー2018 実施報告…………… 17

IV 学生なんでも相談室

- ・活動報告…………… 21

V キャリア支援センター

- ・活動報告…………… 23
- ・就職状況…………… 28

VI SA(スチューデント・アシスタント)

- ・取り組みを振り返って…………… 30
- ・キャリア・ピアサポーター資格取得ガイド…………… 31

VII 学生総合支援センター主催行事

- ・学生支援サミット2018…………… 36
- ・アカデミックフェア2019…………… 39

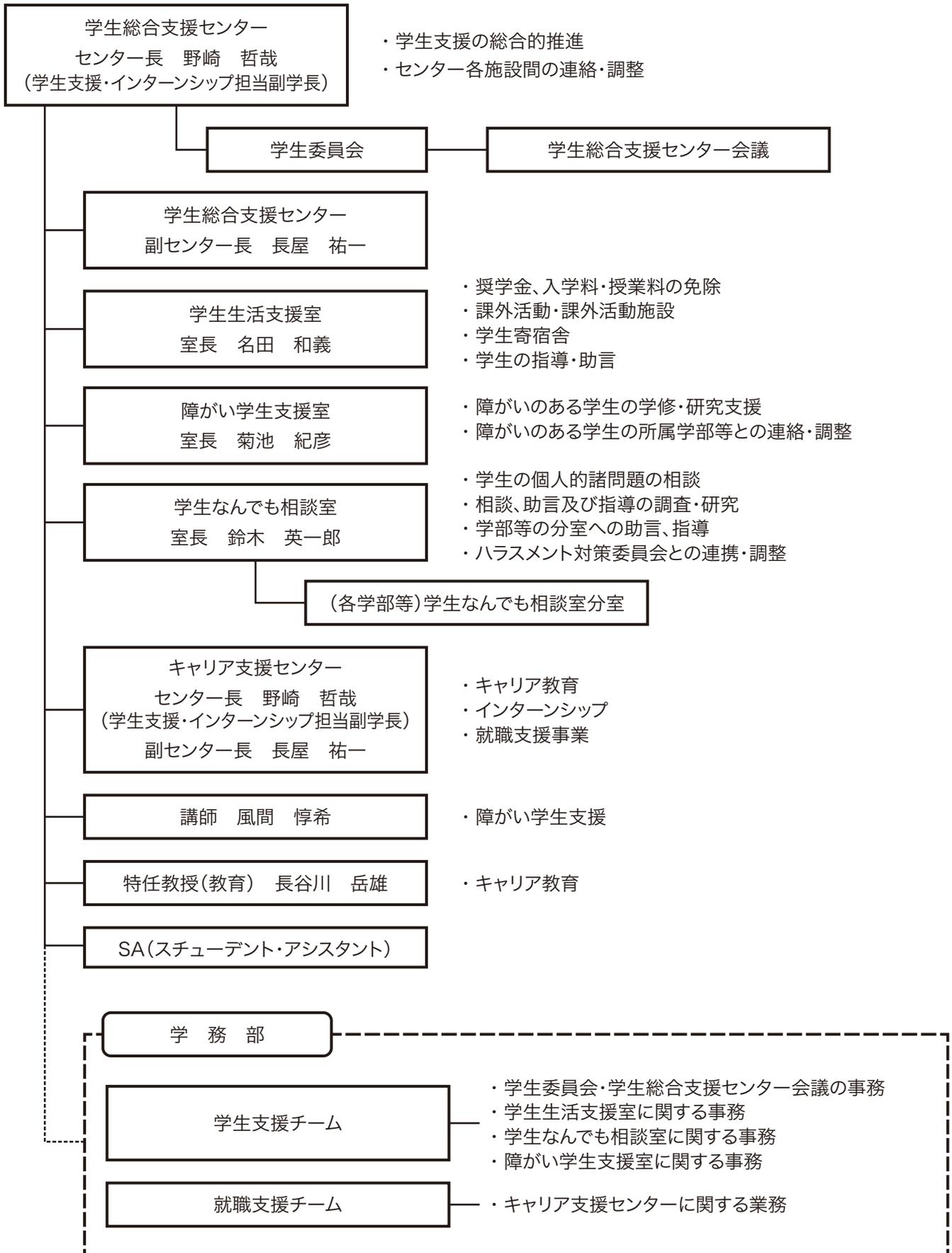
VIII 平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書

- ・学生への支援…………… 43

I

学生総合支援センター

平成30年度 学生総合支援センター 組織図



平成30年度 学生総合支援センター会議 委員名簿

		氏 名	備 考
委員	学生総合支援センター長	野崎 哲哉	議長 学生総合支援・インターンシップ担当 副学長
	キャリア支援センター長		
	学生総合支援センター副センター長	長屋 祐一	
	キャリア支援センター副センター長		
	学生生活支援室長	名田 和義	
	障がい学生支援室長	菊池 紀彦	
	学生なんでも相談室長	鈴木 英一郎	
	学務部長	中島 英雄	
	講師	風間 惇希	
陪席	学生支援課長	草川 弥生	
	学生支援チーム副課長	吉田 幸乃	
	就職支援課長	富島 嘉夫	
	就職支援チーム副課長	高倉 良男	

平成30年度 学生委員会 委員名簿

		氏 名	備 考
委員	学生総合支援センター長	野崎 哲哉	委員長 学生総合支援・インターンシップ担当 副学長
	学生総合支援センター副センター長	長屋 祐一	副委員長
	人文学部	稲垣 朋子	
	教育学部	宮岡 邦任	
	医学部	成田 有吾	
	工学研究科	川口 淳	
	生物資源学研究科	取出 伸夫	
	保健管理センター	竹井 謙之	
	国際交流センター	松岡 知津子	
	学生生活支援室	名田 和義	
	障がい学生支援室	菊池 紀彦	
	学生なんでも相談室	鈴木 英一郎	
	学務部長	中島 英雄	
	陪席	学生支援課長	草川 弥生
学生支援チーム副課長		吉田 幸乃	
学生支援チーム係長		中村 周平	
就職支援課長		富島 嘉夫	
就職支援チーム副課長		高倉 良男	

II

学生生活支援室

平成30年度 活動報告

1 | 全学オリエンテーションの開催

新入生を対象とした学生総合支援センターオリエンテーションを開催し、野崎哲哉学生総合支援センター長及び鈴木英一郎学生なんでも相談室長から、学生生活支援室、障がい学生支援室、学生なんでも相談室、キャリア支援センターの利用方法の説明があり、修学基盤を総合的に支援することを周知した。津警察生活安全課による交通マナーの遵守、未成年飲酒防止および違法薬物の乱用防止などの指導、大学防災室による地震・津波等大規模災害時の対応方法など、これから始まる新しい生活を送るうえで、起こり得る様々な危険を回避するための講話やピアサポーター学生委員会学生から活動内容の紹介を行った。

2 | 学生を支援・担当する教職員を対象とした研修会

日本学生支援機構主催の奨学金に関する説明会や学生が抱える様々な悩みや相談に対応する教職員を対象とした学生支援研修会や、スチューデントコンサルタント資格の取得のための研修講座に、教職員を積極的に派遣した。

3 | 学生向け出張労働相談会の開催

学生の本分である学業とアルバイトをめぐる労働条件確保にかかる様々な問題が増加傾向にあることから、三重労働局雇用環境・均等室の協力を得て、出張労働相談会を6月に開催した。

4 | 上浜キャンパス自転車登録制の実施

学内外での自転車マナー向上を目指し、上浜キャンパスに乗り入れる学生の自転車に登録シールを貼付する自転車乗り入れ登録制を引き続き実施した。また、学内における自転車の登録状況の調査を実施した。(H31.2月 自転車登録台数5,711台)

5 | 交通マナー等の向上

近隣商業施設への無断駐車・無断駐輪や、歩行者・自転車の通学マナーなどの問題については、これまで同様、国道23号線江戸橋交差点付近での交通安全指導や定期的な巡回指導、津警察と連携した交通安全指導等を実施し、注意喚起を行った。交通安全指導は、前期4月10日(水)～4月19日(金)、後期10月10日(水)～10月16日(火)に実施し、学生総合支援センター教員やピアサポーター学生委員会の学生を中心とした多くの学生ボランティアが参加し、学生・教職員協働による取組として一定の効果を上げることができた。また、環境ISO学生委員会と共同で学内の放置自転車を回収し、処分した。(H31.3月 放置自転車台数297台)

6 | 未成年の飲酒防止、学生の飲酒事故防止に係る指導

未成年飲酒防止の周知徹底や学生の飲酒事故防止のため、新入生には、新入生オリエンテーションにおいて、在学生には、特に新入生を迎える4・5月、夏季・冬季休業前などに、注意喚起を実施した。また、学生考案の未成年飲酒の防止やアルコール・ハラスメント防止の啓発シールを作成し、クラブ・サークル連絡会や各学部等に広く配布し、未成年の飲酒防止、学生の飲酒事故防止の指導を依頼した。

7 | クラブ・サークル活動関係

毎月クラブ・サークル連絡会を定例開催し、各種注意喚起、連絡を行った。

また、2月13日にクラブ・サークルリーダー研修会を開催し、課外活動代表者の育成を図った。

音楽系クラブ・サークルが4月から1月までの授業期間中の毎週水曜日の昼食時に翠陵会館大集会室で「ミニライブ」を32回開催した。

9月8日(土)・9日(日)の両日、本学近隣の栗真地区社会福祉協議会が主催した敬老のつどいが4カ所の会場で開催され、本学課外活動団体の邦楽部、ジャグリアーノ!(ジャグリングサークル)、音楽サークルBb、応援団、ギターマンドリンクラブ、フラメンコサークル Ole!がそれぞれの会場に分担して出演した。

ロボコンクラブM³RCが、平成30年6月10日(日)に開催された第27回NHK学生ロボコン本大会での過去最高位タイとなるベスト4及びデザイン賞の受賞が評価され、理事表彰を受けた。

8 | 課外活動施設の改善及び備品等購入助成

* 熱中症対策	大型送風機購入、ミストシャワー修理
* 第1体育館	LED照明取替、雨水配管整備
* 第2体育館	窓開閉オペレーター装置修繕、雨樋修繕
* 屋内トレーニング場	窓開閉オペレーター装置修繕、エントランス防水改修
* 野球場	ライト・レフト防球ネット張替、防球フェンス購入
* サッカー・ラグビー場	土壌整備
* 陸上競技場	助走路踏切板取換
* グランド周囲等	グラウンド用ベンチ購入
* テニスコート	コート人工芝部分修繕、照明安全カバー修繕、砂散布
* 馬場	競技用横木購入、砂補充
* プール	プールテント修繕、プールロボット購入
* 男子合宿所	昼表替、カーテン更新、シャワー室鍵修繕
* 翠陵会館	ウッドデッキ修繕、シューズボックス設置、玄関マット更新
* 課外音楽棟	渡り廊下壁面修繕、ピアノ調律
* ヨット関係	救助艇船定期検査塗装、ヨットセール
* 消耗品購入	ハンドボール部、空手道部、硬式テニス部、硬式野球部、応援団、アメリカンフットボール部、ボランティアサークル、音楽系団体等

9 | 学生の活動支援

本学の学生へ依頼のあった学生の地方行政団体行事への参画などの活動やボランティア活動の支援を行った。また、課外活動を行っている学生に、ボランティア活動の状況調査を実施した。

平成30年度 奨学生数

平成31年4月現在

学部等		区分	在学生数	日本学生支援機構				地方公共団体 民間育英団体	合計	在学生に 対する 百分率
				給付	第一種 (無利子)	第二種 (有利子)	計			
学部	人文学部		1,206	10	192	138	340	2	342	28.4%
	教育学部		871	4	125	111	240	5	245	28.1%
	医学部		1,087	2	126	137	265	349	614	56.5%
	工学部		1,808	6	269	232	507	13	520	28.8%
	生物資源学部		1,083	7	164	118	289	8	297	27.4%
大学院	人文科学研究科		32		1	1	2	0	2	6.3%
	教育学研究科	修士	59		10	0	10	1	11	18.6%
		専門	31		0	0	0	0	0	0.0%
	医学系研究科	修士	29		4	2	6	0	6	20.7%
		前期	24		0	0	0	0	0	0.0%
		後期	11		0	0	0	0	0	0.0%
		博士	200		4	1	5	0	5	2.5%
	工学研究科	前期	446		177	3	180	3	183	41.0%
		後期	39		9	0	9	0	9	23.1%
	生物資源学研究科	前期	166		50	1	51	5	56	33.7%
		後期	53		5	1	6	0	6	11.3%
	地域イノベーション学研究科	前期	28		5	0	5	0	5	17.9%
		後期	20		1	0	1	0	1	5.0%
	計			7,193	29	1,142	745	1,916	386	2,302

↑
在学生数
H30.5.1現在

平成30年度 学部別外国人留学生数調

平成30年11月1日現在

	学部		修士		博士		計
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	
人文学部	13(7)	56(37)	11(9)	6(4)	0(0)	0(0)	86(57)
教育学部	5(4)	28(25)	10(6)	1(1)	0(0)	0(0)	44(36)
医学部	0(0)	1(0)	5(3)	1(1)	25(8)	0(0)	32(12)
工学部	21(0)	13(4)	12(8)	6(1)	8(4)	0(0)	60(17)
生物資源学部	0(0)	9(3)	21(9)	6(5)	23(11)	1(0)	60(28)
地域イノベーション学研究科	0(0)	0(0)	1(0)	1(1)	4(2)	0(0)	6(3)
国際交流センター	0(0)	31(21)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	31(21)
計	39(11)	138(90)	60(35)	21(13)	60(25)	1(0)	319(174)

()は、内数で女子を示す。

平成30年度 国籍別外国人留学生数調

37ヶ国・地域 総数 319 (女子 174)

平成30年11月1日現在

地域・国名		【学部】		【大学院】		【国際交流センター】	計
		正規生	非正規生	正規生	非正規生	非正規生	
アジア	中国	16(5)	65(43)	52(29)	12(9)	12(9)	157(95)
	インドネシア	0(0)	0(0)	21(12)	2(0)	1(1)	24(13)
	韓国	12(6)	4(1)	1(0)	1(0)	7(3)	25(10)
	ベトナム	7(0)	5(5)	3(1)	0(0)	2(2)	17(8)
	タイ	0(0)	7(6)	5(5)	0(0)	3(1)	15(12)
	台湾	0(0)	5(3)	0(0)	1(1)	4(4)	10(8)
	バングラデシュ	0(0)	0(0)	4(1)	1(1)	0(0)	5(2)
	アフガニスタン	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	2(0)
	ミャンマー	0(0)	0(0)	5(1)	0(0)	0(0)	5(1)
	マレーシア	2(0)	2(1)	1(1)	1(1)	0(0)	6(3)
	カンボジア	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
	ラオス	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	2(0)
	ネパール	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)
	フィリピン	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
	スリランカ	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
ウズベキスタン	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)	
アフリカ	ガーナ	0(0)	0(0)	7(2)	0(0)	0(0)	7(2)
	エジプト	0(0)	0(0)	3(1)	0(0)	0(0)	3(1)
	ザンビア	0(0)	1(0)	2(1)	0(0)	0(0)	3(1)
	モザンビーク	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	2(0)
	ギニア	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
	ケニア	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
	マリ共和国	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
	セيشェル	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
南米	ブラジル	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
	メキシコ	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
オセアニア	フィジー	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
	パプアニューギニア	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
	トンガ	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
	ツバル	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
ヨーロッパ	ドイツ	0(0)	10(5)	0(0)	1(0)	0(0)	11(5)
	フランス	0(0)	1(1)	0(0)	2(0)	0(0)	3(1)
	英国	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	2(1)
	オーストリア	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
	ベルギー	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
	ルーマニア	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
	スウェーデン	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
合計		39(11)	107(69)	120(60)	22(13)	31(21)	319(174)
		146(80)		142(73)		31(21)	

()は、内数で女子を示す。

正規生 159(71)

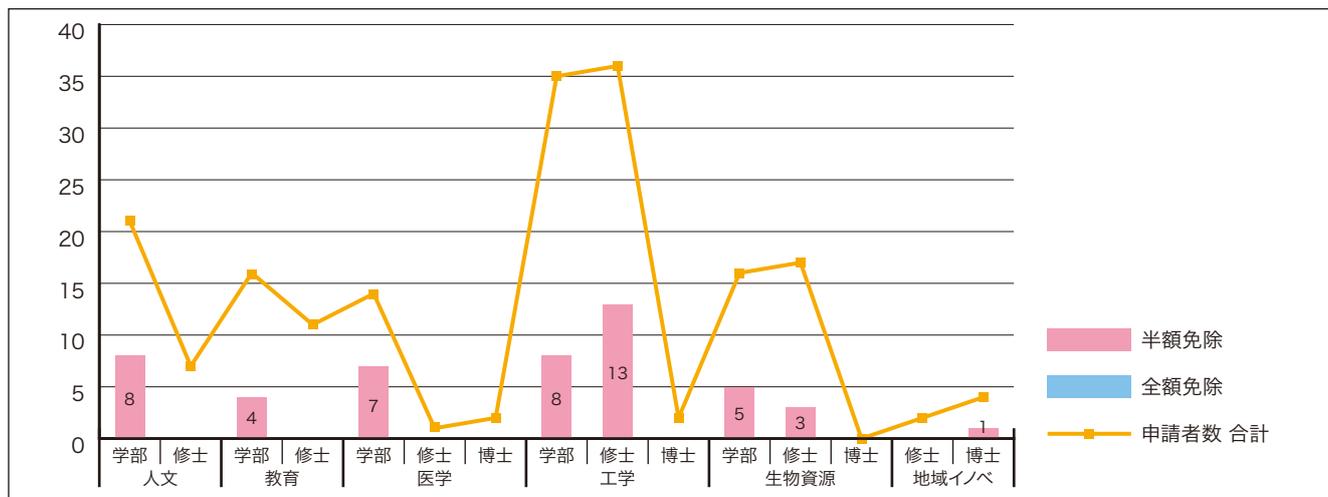
非正規生 160(103)

平成30年度 入学料免除者数(学部・研究科別)

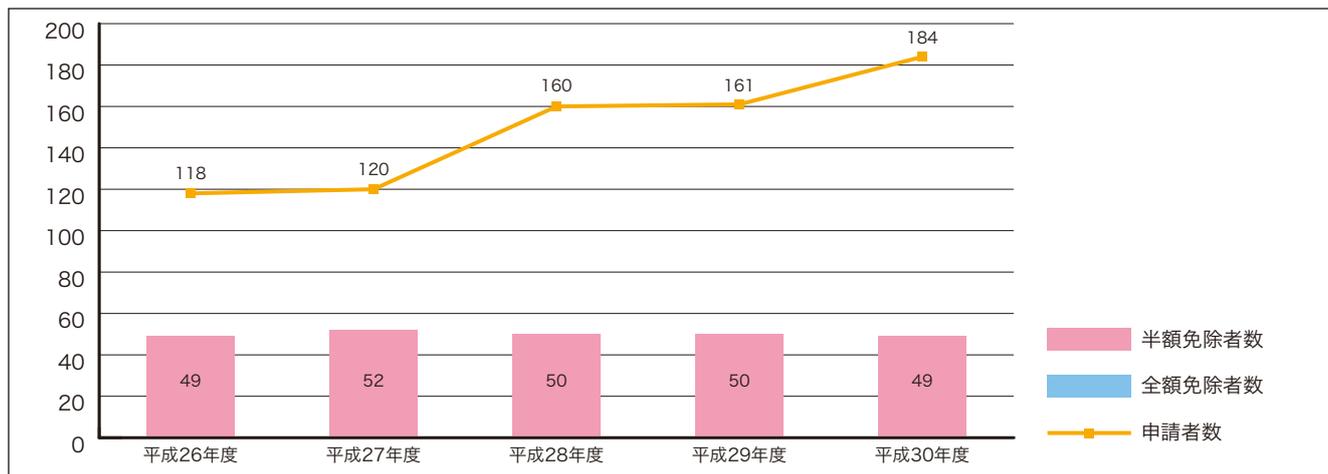
●入学料免除

学部・研究科名		免除申請者数	全額免除	半額免除
人文	学部	21	0	8
	修士	7	0	0
教育	学部	16	0	4
	修士	11	0	0
医学	学部	14	0	7
	修士	1	0	0
	博士	2	0	0
工学	学部	35	0	8
	博士前期	36	0	13
	博士後期	2	0	0
生物資源	学部	16	0	5
	博士前期	17	0	3
	博士後期	0	0	0
地域イノベ	博士前期	2	0	0
	博士後期	4	0	1
合 計		184	0	49

●平成30年度入学料免除者数



●過去5年間の三重大学における入学料免除者数(平成26年～30年)

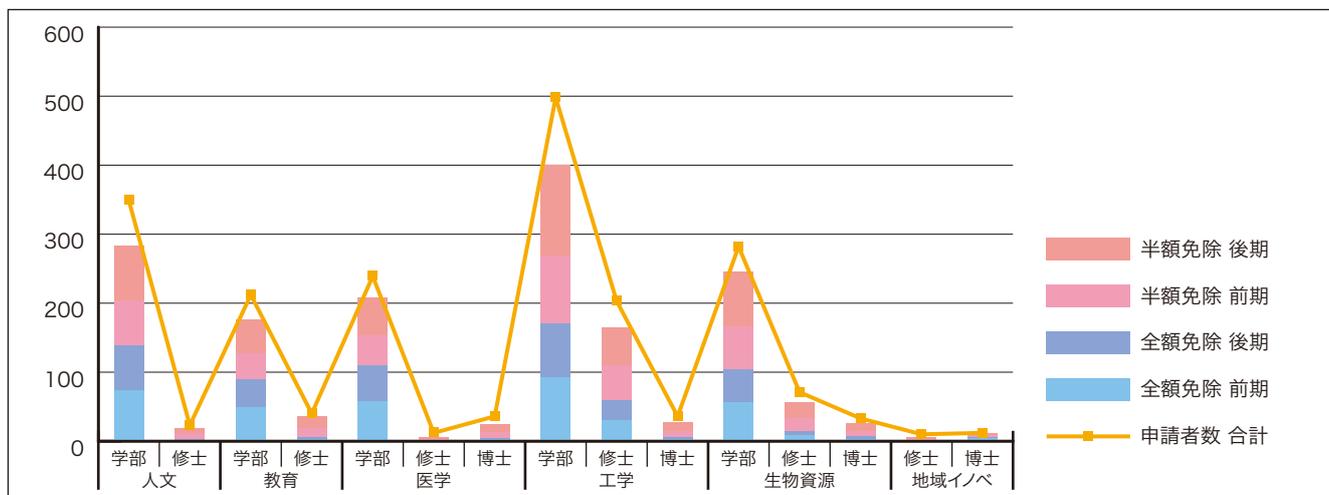


平成30年度 授業料免除者数(学部・研究科別)

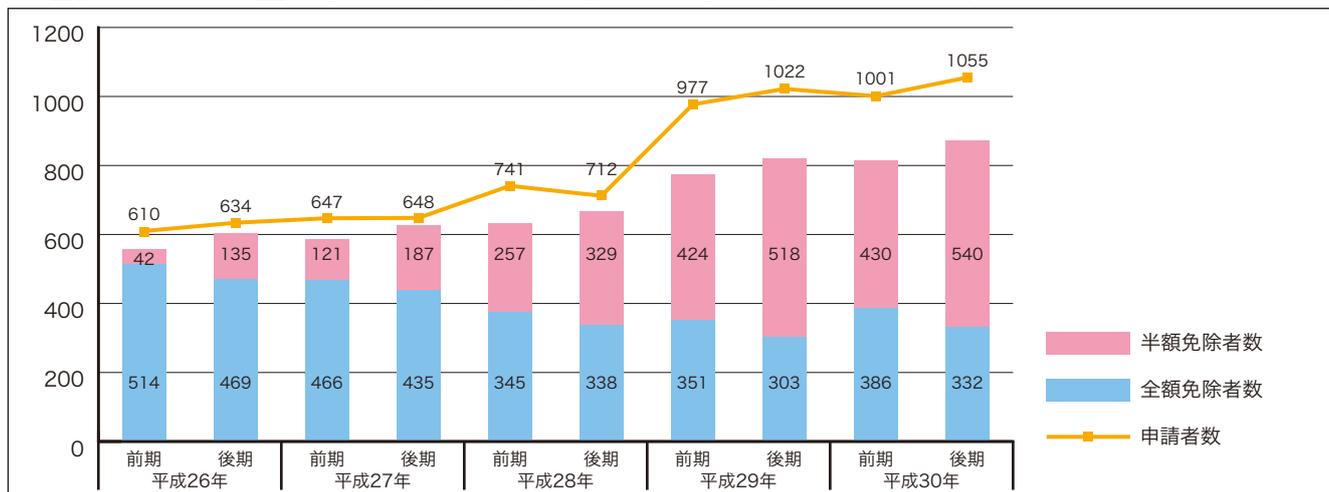
● 授業料免除

学部・研究科名		申請者数			全額免除		半額免除		免除者計	
		前期	後期	合計	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文	学部	169	180	349	74	65	64	80	138	145
	修士	12	11	23	1	2	8	8	9	10
教育	学部	106	106	212	49	40	39	48	88	88
	修士	20	20	40	3	2	14	16	17	18
医学	学部	115	124	239	58	52	43	55	101	107
	修士	6	6	12	0	1	2	2	2	3
	博士	18	18	36	3	1	9	12	12	13
工学	学部	239	259	498	93	78	97	132	190	210
	博士前期	101	102	203	30	30	50	54	80	84
	博士後期	18	18	36	3	2	10	12	13	14
生物資源	学部	136	146	282	56	48	62	79	118	127
	博士前期	35	36	71	9	5	19	24	28	29
	博士後期	15	18	33	3	4	8	11	11	15
地域イノベ	博士前期	5	5	10	0	0	3	3	3	3
	博士後期	6	6	12	4	2	2	4	6	6
合 計		1,001	1,055	2,056	386	332	430	540	816	872

● 平成30年度授業料免除者数



● 過去5年間の三重大学における授業料免除者数(平成26年～30年)



入寮許可状況報告

●男子学生寄宿舍

定員:109名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成30年度	52	46	45	

●女子学生寄宿舍

定員:60名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成30年度	35	40	35	1名辞退

●国際女子学生寄宿舍

定員:日本人学生50名 留学生25名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成30年度	日本人学生	23	23	23	
	留学生	17	17	17	

●留学生会館

定員:35室		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成30年度	単身室(30人)	25	25	25	
	夫婦室(5室)	1	1	1	

●留学生寄宿舍A棟

定員:49名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成30年度	単身室(17人)	11	11	11	
	4人部屋(32人)	16	9	9	

●留学生寄宿舍B棟

定員:35名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成30年度	単身室(35人)	26	23	23	

●留学生寄宿舍C・D棟

定員:85名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成30年度	単身室(29人)※	9	8	8	
	4人部屋(56人)	21	19	19	

※C棟の留学生用単身室は9部屋。C棟には他に研究者用単身室が6部屋ある。

平成30年度 学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険

学部・研究科	入学者数	加入者数	加入率	
人文学部	295	198	65%	
教育学部	209	141	67%	
医学部	205	198	97%	
工学部	441	368	83%	
生物資源学部	283	149	53%	
人文社会科学研究科	16	6	38%	
教育学研究科	52	37	71%	
医学系研究科	(博士課程)	30	16	53%
	(修士課程)	13	8	62%
工学研究科	(博士後期課程)	9	3	33%
	(博士前期課程)	215	160	74%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	5	3	60%
	(博士前期課程)	76	49	64%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	6	6	100%
	(博士前期課程)	13	7	54%
合計	3,301	2,393	72%	

● 学研災付帯学生生活総合保険

平成30年度

学部・研究科	入学者数	加入者数	加入率	
人文学部	295	8	3%	
教育学部	209	11	5%	
医学部	205	28	14%	
工学部	441	32	7%	
生物資源学部	283	14	5%	
人文社会科学研究科	16	0	0%	
教育学研究科	52	1	2%	
医学系研究科	(博士課程)	30	1	3%
	(修士課程)	13	0	0%
工学研究科	(博士後期課程)	9	0	0%
	(博士前期課程)	215	5	2%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	5	0	0%
	(博士前期課程)	76	2	3%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	6	0	0%
	(博士前期課程)	13	0	0%
合計	1,868	102	5%	

● 大学生協の学生総合共済

平成30年度

学部・研究科	入学者数	加入者数	加入率	
人文学部	295	211	72%	
教育学部	209	172	82%	
医学部	205	167	81%	
工学部	441	348	79%	
生物資源学部	283	221	78%	
人文社会科学研究科	16	0	0%	
教育学研究科	52	12	23%	
医学系研究科	(博士課程)	30	4	13%
	(修士課程)	13	1	8%
工学研究科	(博士後期課程)	9	2	22%
	(博士前期課程)	215	158	73%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	5	7	140%
	(博士前期課程)	76	61	80%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	6	0	0%
	(博士前期課程)	13	0	0%
合計	1,868	1,364	73%	

第67回東海地区国立大学体育大会成績結果一覧

①日時 平成30年5月26日(土)・27日(日)
 6月16日(土)・17日(日)、23日(土)・24日(日)、30日(土)
 7月1日(日)、7日(土)・8日(日)、14日(土)・15日(日)、28日(土)・29日(日)

②場所 四ツ池運動公園陸上競技場他17会場

③幹事大学 浜松医科大学

④成績

(男子)

競技種目	大学名		浜医大		愛教大		三重大		名古屋大		岐阜大		名工大		豊技大		静岡大		備考
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
1 陸上競技	8	1.0	3	6.0	5	4.0	1	10.0	4	5.0	6	3.0	7	2.0	2	8.0			
2 水泳	7	2.0	3	6.0	6	3.0	2	8.0	1	10.0	4	5.0	8	1.0	5	4.0			
3 硬式野球	/	/	3	4.5	6	2.0	2	6.0	4	4.5	1	8.0	7	2.0	5	1.0			
4 準硬式野球	1	10.0	5	2.5	4	5.5	7	2.5	8	2.5	2	8.0	6	2.5	3	5.5			3,4位区別無し 5位以下順位無し
5 硬式テニス	6	2.5	2	8.0	1	10.0	8	0.0	4	5.0	5	2.5	7	2.5	3	6.0			5位以下順位なし
6 ソフトテニス	8	1.5	2	8.0	4	5.0	6	3.5	3	6.0	5	3.5	7	1.5	1	10.0			
7 バスケットボール	/	/	2	5.0	1	6.0	/	/	5	2.0	6	1.0	4	3.0	3	4.0			
8 バレーボール	7	2.0	1	10.0	3	6.0	4	5.0	6	3.0	2	8.0	8	1.0	5	4.0			
9 卓球	/	/	5	3.0	3	5.0	1	8.0	6	2.0	4	4.0	7	1.0	2	6.0			
10 バドミントン	7	2.0	8	1.0	2	8.0	4	5.0	1	10.0	5	4.0	6	3.0	3	6.0			
11 サッカー	3	6.0	7	3.0	5	3.0	2	8.0	4	5.0	6	3.0	8	0.0	1	10.0			5位以下順位なし
12 ハンドボール																			台風のため中止
13 柔道	/	/	5	0.0	6	0.0	3	4.0	1	6.0	4	3.0	/	/	2	5.0			
14 剣道	8	1.5	3	6.0	4	5.0	2	8.0	1	10.0	5	3.5	7	1.5	6	3.5			
15 空手道	2	8.0	6	3.0	5	4.0	1	10.0	4	5.0	8	0.0	7	2.0	3	6.0			
16 弓道	4	4.0	/	/	5	2.0	6	2.0	1	8.0	2	6.0	7	2.0	3	5.0			
17 体操	/	/	3	0.0	4	0.0	1	6.0	2	5.0	5	0.0	/	/	3	4.0			
18 馬術	/	/	4	3.0	3	4.0	2	5.0	1	6.0	6	1.5	/	/	5	1.5			
19 アーチェリー	/	/	1	4.0	/	/	3	2.0	4	1.0	/	/	/	/	2	3.0			
20 少林寺拳法	/	/	/	/	4	1.0	1	4.0	2	3.0	/	/	/	/	3	2.0			
男子順位		7		5		4		2		1		6		8		3			

(女子)

競技種目	大学名		浜医大		愛教大		三重大		名古屋大		岐阜大		名工大		豊技大		静岡大		備考
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
1 陸上競技	7	1.5	1	8.0	3	5.0	5	3.0	4	4.0	6	1.5	/	/	2	6.0			
2 水泳	4	4.0	1	8.0	5	3.0	2	6.0	3	5.0	7	1.0	/	/	6	2.0			
5 硬式テニス	2	5.0	5	2.0	1	6.0	6	0.0	4	3.0	/	/	/	/	3	4.0			
6 ソフトテニス	7	0.0	4	4.0	6	2.0	1	8.0	3	5.0	5	3.0	/	/	2	6.0			
7 バスケットボール	/	/	3	2.0	4	1.0	/	/	2	3.0	/	/	/	/	1	4.0			
8 バレーボール	/	/	1	6.0	6	0.0	4	3.0	3	4.0	5	2.0	/	/	2	5.0			
9 卓球	/	/	5	2.0	6	1.0	4	3.0	3	4.0	1	6.0	/	/	2	5.0			
10 バドミントン	7	1.0	4	4.0	1	8.0	2	6.0	3	5.0	5	3.0	/	/	6	2.0			
12 ハンドボール																			オープン競技、台風のため中止
13 柔道																			オープン競技
14 剣道	7	0.0	2	6.0	3	5.0	1	8.0	5	2.5	6	2.5	/	/	4	4.0			
15 空手道	4	3.0	5	2.0	2	5.0	3	4.0	6	0.0	/	/	/	/	1	6.0			
16 弓道	3	4.0			4	3.0	2	5.0	5	1.5	6	1.5	/	/	1	6.0			
17 体操																			オープン競技
19 アーチェリー	/	/	1	4.0	/	/	3	0.0	2	0.0	/	/	/	/	4	0.0			
20 少林寺拳法																			オープン競技
女子順位		7		2		4		3		5		6		8		1			

平成30年度 クラブ・サークル一覧

● 体育系・全学

平成30年11月30日現在

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	陸上競技部	48	15	63	30	トライアスロン部	21	3	24
2	水泳部	19	7	26	31	応援団	27	24	51
3	硬式野球部	51	4	55	32	ジャグリアーノ(ジャグリングサークル、大道芸)	26	15	41
4	準硬式野球部	20	8	28	33	フラメンコサークル OLE!	2	15	17
5	サッカー部	25	2	27	34	ロボコンクラブM3RC	14	1	15
6	ラグビー部	20	7	27	35	BLUE MARINE(スキンドайビング)	53	24	77
7	アメリカンフットボール部	31	11	42	36	バスケットボール同好会	38	10	48
8	馬術部	5	4	9	37	スキューバダイビングサークル	39	22	61
9	硬式テニス部	11	6	17	38	天狗(よさこいサークル)	11	14	25
10	ソフトテニス部	27	6	33	39	サイクリングサークル	36	0	36
11	ハンドボール部	13	7	20	40	合気道・武の道	4	10	14
12	バレーボール部	8	9	17	41	ラインブレイク(釣り・アウトドア)	35	3	38
13	バスケットボール部	15	8	23	42	NEXT(ダンス)	18	23	41
14	バトミントン部	13	9	22	43	極津(よさこい)	0	25	25
15	卓球部	31	8	39	44	WILL(テニス)	49	33	82
16	体操競技部	3	0	3	45	テコンドー部	15	3	18
17	ダンス部	18	20	38	46	Wild Geese(アウトドア)	84	33	117
18	柔道部	3	0	3	47	日本拳法部	6	3	9
19	剣道部	26	12	38	48	電気自動車研究会	7	1	8
20	空手道部	6	4	10	49	Links(ソフトテニス)	39	13	52
21	少林寺拳法部	8	5	13	50	バドミントンサークル ひらめ	17	13	30
22	合気道部	11	11	22	51	CHASE(テニス)	34	10	44
23	ワンダーフォーゲル部	9	2	11	52	サバイバルゲームサークル	25	2	27
24	自動車部	11	0	11	53	ITFテコンドーサークル	14	5	19
25	弓道部	14	14	28	54	フロアボールサークルOCEAN	16	6	22
26	洋弓部	3	1	4	55	MHC(ハンドボール)	8	0	8
27	ヨット部	11	8	19	56	さーかす	17	5	22
28	ボート部(休部)	0	0	0					
29	端艇部(カッター部)	5	2	7		合計(体育系・全学) 56	1120	506	1626

● 体育系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	医学部サッカー部	28	16	44	11	医学部バレーボール部	21	34	55
2	医学部水泳部	18	9	27	12	医学部卓球部	42	42	84
3	医学部陸上競技部	21	26	47	13	医学部剣道部	22	27	49
4	医学部ゴルフ部	47	32	79	14	医学部弓道部	21	19	40
5	医学部ラグビー部	22	14	36	15	医学部空手道部	12	15	27
6	医学部ハンドボール部	24	17	41	16	医学部競技スキー部	10	5	15
7	医学部ソフトテニス部	21	29	50	17	医学部水泳部	14	4	18
8	医学部硬式庭球部	28	36	64	18	医学部山岳部	15	2	17
9	医学部バスケットボール部	17	17	34	19	合気道同好会	10	0	10
10	医学部バドミントン部	20	29	49		合計(体育系・医学部) 19	413	373	786

●文化系・全学

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	管弦楽団	16	48	64	31	天文サークル SOLA	17	10	27
2	吹奏楽団	20	30	50	32	BBS(教育ボランティア)	15	18	33
3	ギターマンドリンクラブ	17	12	29	33	ふるさあ。(アンザンプルサークル)	27	34	61
4	ギタークラブ	15	8	23	34	Pioneer(アカペラ)	42	37	79
5	邦楽部	7	9	16	35	アンビシャスカード(マジック)	19	13	32
6	室内楽団	3	14	17	36	食農サークル 農らく	30	17	47
7	写真部	8	14	22	37	DTMサークルJack	11	4	15
8	合唱団	17	20	37	38	てらこや(国際交流サークル)	5	18	23
9	美術部	4	21	25	39	Meiku[メイク(地域おこし)]	16	27	43
10	漫画倶楽部	13	9	22	40	つくしんぼサークル(子供ボランティア)	13	62	75
11	ESS	50	36	86	41	クッキングアシスト	4	5	9
12	軽音楽部	57	41	98	42	mil-poa(手芸サークル)	2	17	19
13	ジョイア(学習支援ボランティア)	4	0	4	43	カフェ・サークル Le Lien	27	45	72
14	人形劇団つくし(休部)	2	1	3	44	ジャズサークル Three Time Jazz Orchestra	7	13	20
15	ピアノ同好会 KLUB KLAVIER	14	22	36	45	TGJ 津学生情報室	1	2	3
16	表千家茶道部	5	17	22	46	三重大学放送局	6	4	10
17	裏千家茶道部	1	22	23	47	Bio Record(標本作製サークル)	15	4	19
18	TRPG同好会	15	4	19	48	計算研究会	19	0	19
19	創作活動サークル リカゲル	17	7	24	49	トラッパーズ	5	5	10
20	囲碁・将棋部	28	2	30	50	SYNERGY	6	7	13
21	放送イベントサークル HELLO FM!	11	4	15	51	ラブライ部	9	0	9
22	献血推進サークル ヴァンパイア	13	17	30	52	カンボジア支援団体CSU	0	3	3
23	エレクトーンサークル23-tow・three-	8	14	22	53	aquri-M	6	3	9
24	万葉旅行の会	6	8	14	54	ESD セルフリライアンス	10	5	15
25	Bb	65	29	94	55	三重創生ファンタジスタクラブ	8	5	13
26	かめっぶり	17	6	23	56	忍者部	9	8	17
27	劇団アディスト(演劇)	6	10	16	57	C&S(料理・お菓子作りサークル)	3	1	4
28	ねこサークル	54	31	85	58	歴史研究会	3	3	7
29	落語研究会	0	4	4					
30	編入サークル Transfer	31	17	48		合計(文化系・全学) 58	859	847	1706

●文化系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	東洋医学研究会	30	16	46	8	Mie Project	7	4	11
2	医学部軽音楽部	26	28	54	9	小児科ボランティア ぞくよん	21	64	85
3	セッションクラブ BAG	37	22	59	10	MUSH(Mie University Students Helper)	7	4	11
4	きゅうめい部	47	30	77	11	献血推進サークル“ヴァンパイア”	4	6	10
5	U-Cam	5	9	14	12	JAZZ BAR	1	5	6
6	子どもと一緒に小児医療を考える会	3	4	7					
7	良き医療者をめざす会	75	16	91		合計(文化系・医学部) 12	263	208	471

平成30年度クラブ・サークル数 145	男	女	計
	2655	1934	4589



障がい学生支援室

平成30年度 障がい学生支援室活動報告

1 | 障がいのある学生に関する相談支援

表1に平成30年度の障がい学生に関する相談件数及び対応人数を示した。相談件数は453件であり、延べ人数は560名、実人数は106名であった。そのうち、教職員からの相談件数は119件、延べ人数は169名、実人数は47名であった。障がいのある学生の延べ人数は269名、実人数は24名であった。

表1 平成30年度障がい学生に関する相談件数及び対応人数

	相談対応件数			相談者延人数			相談者実人数					
	障がい学生	教職員	その他	障がい学生	教職員	その他	障がい学生	教職員	その他			
4月	66	40	30	10	100	40	49	11	39	13	19	7
5月	55	25	15	8	60	25	24	11	23	8	9	6
6月	35	17	15	4	36	17	15	4	19	7	9	3
7月	62	30	20	16	75	30	27	18	33	10	14	9
8月	26	16	6	6	30	16	6	8	19	8	4	7
9月	21	12	5	5	23	12	6	5	16	6	6	4
10月	28	18	4	8	31	18	5	8	15	6	3	6
11月	30	24	3	5	38	24	4	10	15	5	3	7
12月	18	13	3	3	19	13	3	3	11	7	2	2
1月	32	27	3	2	32	27	3	2	13	9	2	2
2月	33	15	7	13	43	15	15	13	29	8	14	7
3月	47	32	8	20	73	32	12	29	33	13	7	13
合計	453	269	119	101	560	269	169	122	※106	※24	※47	※35

※実人数は、平成30年度の年間実人数であり、合計で示さない。
※障がい学生：障がいのある可能性を考慮しながら対応している学生を含む。
※その他：保護者、学外機関担当者

2 | 障がいのある学生が在籍する学部教職員との連携・情報交換、コンサルテーションの実施

障がい学生支援室と学生総合支援センター長、各部局選出の監督者及び学務担当係長によって構成される「障がい学生支援調整会議」を5回実施した。本会議の成果は以下のとおりである。

- ・「三重大学における障がいのある学生の支援に関する基本方針」を策定した。
- ・第1回～第5回の会議において、部局における支援状況についての情報交換を行った。
第5回の会議においては、スライドショーを用いた事例報告を行い、共有された情報をもとに、来年度の障がい学生支援の在り方について協議した。

3 | 支援学生の養成、学生主体による障がい学生支援の推進

- ・教養教育において「障がい学生支援実践」の授業を開講した。受講者は40名であった。
- ・ACS学生委員会を組織し、32名の学生が委員会活動に参加した。バリアフリーマップの作成を行ったが、新たに車いす利用者のユーザー視点を取り入れたマップの作成に着手した。
- ・三重県雇用経済部雇用対策課障がい者雇用班の企画する、働く障がい者が発表を行うセミナーに、ACS学生委員会に所属するサポーター学生を引率し参加した(5月11日、7月13日)。

- ・津市久居体育館で開催された「三重県障がい者スポーツフェスティバル 2018」にACS学生委員会の学生4名が参加し、障がい者用の車椅子(バスケットボール、陸上競技用)や、視覚障がい者用の卓球、義足などの体験を通して、サポートすることの必要性や補助の仕方等を学んだ(10月28日)。
- ・日本福祉大学において、ACS学生委員会と日本福祉大学学生支援センター学生スタッフとの交流会を行った。本学からは7名の学生が参加し、ノートテイク・パソコンテイクの実習体験や活動内容についての情報交換を行った(12月22日)。
- ・福井大学において開催された「障がい学生サポーターネットワークサミット」にACS学生委員会の学生8名が参加した。各大学の活動報告や支援ワークショップ等を通して、支援方法に関する学びを深めた(2月19日)。

4 | 学内における理解・啓発活動

- ・日本福祉大学の柏倉秀克教授を招聘し、「障害学生支援に関する制度及びその実際について」というテーマでセミナーを開催した。セミナーの参加者は85名(学内73名、学外12名)であった(11月22日)。
- ・教養教育院主催の研修会にて、「三重大学における障がい学生支援」というテーマで、学内外における障がい学生支援の動向を概観するとともに、障がい別の特徴や支援方法について講演した(12月25日)。

5 | 関係機関との連携

- ・障がい学生支援室、キャリア支援センター、学生なんでも相談室、ハローワーク津、三重県自閉症・発達障害支援センター、三重県障害者職業センター、若者就業サポートステーション・みえの担当者が参加する「障害のある学生の就職支援に関する連携会議」を行い、地域の障害者就労支援の現状共有および支援に際しての留意点等の意見交換を行った(8月20日、10月22日、2月4日)
- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター及び就労継続支援B型施設、障がい者就労支援施設「Noto カレッジ」を見学し、東海地域における障がい者の就労支援体制についての情報共有を行った(5月22日、5月31日)。
- ・四日市市総合会館及びハローワーク津で開催された「障害のある学生・生徒のための企業説明会」に参加し、障がい学生のインターンシップ受入に関する企業との情報交換を行った(7月25日、7月30日)。
- ・鈴鹿大学で開催された「つなぐ育ち事例勉強会」に参加し、発達障がいの就職支援についての事例検討及び県内の各機関における支援体制についての情報共有を行った(7月27日)。
- ・名古屋大学において行われた「障害者就労支援の役割分担・連携ワークショップ」に参加し、東海地区の大学における障がい学生の就職支援に関する取り組みについて情報交換及び議論を行った(10月11日)。
- ・東海地区の大学のキャリアまたは障がい学生支援担当者による関西地区の企業・大学の視察に参加し、株式会社パナソニック、京都大学、株式会社エンカレッジ、同志社大学、株式会社堀場製作所を視察、関西地区で積極的に行われている大学及び企業による障がい者(障がい学生)の就労支援についての情報を得た(12月13～14日)。
- ・名古屋大学で開催された「『東海地域障害学生就労支援つながるマップ』作成ワークショップ」に参加し、障がい学生の就労支援における学内外の機関との連携の重要性および各大学の連携体制の情報交換や協議を行った(2月14日)。

6 | その他

- ・ウインク愛知で開催された発達障害学生の就職支援に関する講演会に参加し、関西地区における支援の実情及び在学中からの支援プログラムの実施等についての情報収集を行った(8月3日)
- ・兵庫国際交流会館で開催された「障害学生支援実務者育成研修会」の基礎プログラムに参加し、障害学生支援を担当する実務者に必要な基礎的な知識や技能等についての研修を受けた。また、研修を通して他大学の担当者との情報交換を行った(8月30～31日)。

- ・名古屋工業大学で開催された「第7回東海地区障害学生支援フォーラム」に参加し、発達障害学生に対する合理的配慮に関する講演の聴講や、東海地区の障がい学生支援担当者との情報交換を行った(9月25日)。
- ・広島大学において行われた平成30年度障害学生支援専門テーマ別セミナーに参加した。セミナーでは「オンキャンパス支援における量的課題と地域連携」というテーマで、他大学の教職員と意見交換を行い、今後の障がい学生支援のあり方について協議した(11月9日)
- ・名城大学(天白キャンパス)で開催された「第8回東海地区障害学生支援フォーラム」に参加した。障がい学生支援の施策動向に関する講演の聴講や、東海地区の国公立大学の支援動向に関する情報交換を行った(3月13日)。

三重大学障がい学生支援セミナー2018 実施報告

2018年11月22日(木)に行った障がい学生支援セミナー2018について下記の通り報告する。

1 | 参加者内訳

(名)

学内参加者	12(10)
学外参加者	73(63)
計	85(73)

※数字は参加人数()はアンケート回収数

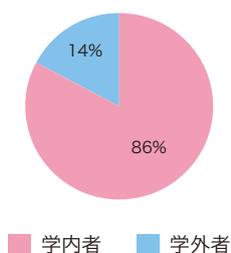
2 | 学内参加者内訳

(名)

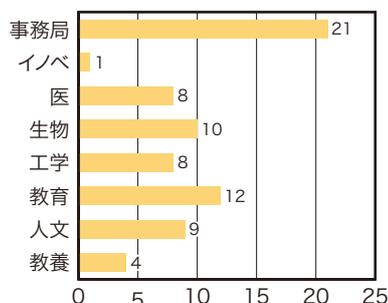
	教養	人文	教育	工学	生物	医	イノベ	事務局	計
教員	3	8	7	6	7	6		1	38
事務	1	1	3	2	3	2	1	20	33
学生			2						2
計	4	9	12	8	10	8	1	21	73

※学部以外のセンター等については、事務局へ含む。

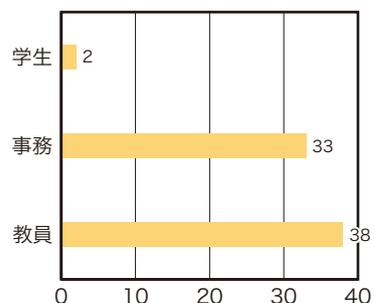
参加者内訳



部局別



職種別



下記、セミナー時に行ったアンケート結果(回収数73名)について記載する。

3 | セミナーを知ったきっかけ

(名)

学内会議	ポスター	E-mail	友人知人	その他	無回答	計
33	0	25	3	6	6	73

その他のうち、2名は本学からの郵送案内。

4 | 講演内容について

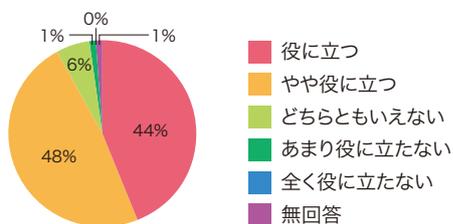
● 三重大学における支援体制について(障がい学生支援室 風間惇希先生)

役に立つ	やや役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	全く役に立たない	無回答	計
32	35	4	1	0	1	73

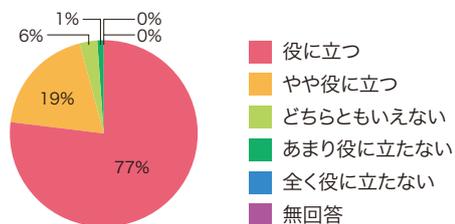
● 障がい学生支援についての制度及び支援の実際(日本福祉大学 柏倉秀克先生)

役に立つ	やや役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	全く役に立たない	無回答	計
56	14	2	1	0	0	73

三重大学における支援体制について



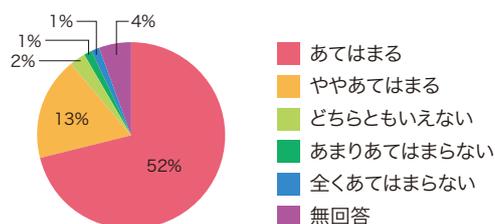
障がい学生支援についての制度及び支援の実際



● 今回の講演について(障がい学生への対応を考える機会となった)

あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答	計
52	13	2	1	1	4	73

今回の講演について(障がい学生への対応を考える機会となった)



5 | 講演について、さらに知りたいことやご意見・ご感想等 27件

- ・ 柏倉先生のご講演を聞き、本学の障害学生支援体制はまだまだだと感じた。本日をキッカケに、全学的に取り組んでいければと思いました。
- ・ 「合理的配慮」について、「教育の本質は変えない」という点を強調されていて、納得しました。シラバスへの明記も含めあいまいな部分を残さず、ルールを明確化することが。学生支援だけでなく、教員の対応や、トラブル対応(軽減)のためにも必要とわかりました。
- ・ 学内における障害学生に対するフローチャートなど、まだまだ準備、FAQ などが必要。また、学内事例集もあるとよい。その上で総合学生支援組織が重用と思う。
- ・ 「ルール上を明確に、期日を守って対応する」方法が良く分かった。
- ・ 合理的配慮に対する理解が深まった。
- ・ SDとしなかったのは何故か(タイトル)。事務職員の参加を促すなら内容にも配慮してほしい
- ・ 理念、概念よりも、具体例・トラブルになりやすいパターンを知りたい。事例や診断書があっても、教育方法は様々であり、また、ひとつの科目は多様な要素で完成されるので、医学・教育系では難しいことが多いと思いました。身体障害はともかく、発達障害・精神障害について。
- ・ 大変参考になるお話でした。同時に、大学及び個々の教員に求められる対応にはさまざまな課題があると感じました。非過重負担という原則ではありますが、やはり個々の教員およびそれをサポートする体制作りにも相応の負担は必要であり、教員全体での認識の共有が不可欠であると思いました。
- ・ 事例を示していただいたのが分かりやすかったです。
- ・ 学生に「障がいを持つ」数が増えていることについて色々おしえていただきありがたかったです。配慮が必要な学生について、身体的・発達障がいとわけても配慮の仕方がひとくりにできないところに難しさを感じます。手続き(エビデンスのない配慮はしない)上の問題、それぞれ対応する側の温度差など考えることが多いですね。
- ・ 教育学部では教育実習、実地研究、そして教員採用試験等障がい学生に対応できるシステムをもつと構築し、実習校や教育委員会での検討の場をもつ必要がある。すでに検討が行われているのなら、その情報を提供してほしい。
- ・ 講演についてではありませんが、パワーポイントの配布資料は、背景を白紙にしていきたい。ペンでメモを取るスペースがないですし、インクももったいないかと。
- ・ 二時間は長過ぎる。多忙な中時間の確保が困難である。この後に又別の会議が予定されている。後半の質疑応答が興味深かった。
- ・ 非常にわかりやすく、大学内における障がい学生の受け入れ理解の一助に更になったように思う。
- ・ 合理的配慮の考え方がよく分かり、納得がいきました。
- ・ 面談を通して、当然障がい学生の申し出に基づき、双方が納得した上で合理的配慮の内容を決定しますが、その配慮事項の評価をすることが極めて困難で、PDCAを行う上で障壁となっていると感じます。どの様に評価を行うのが望ましいでしょうか？
- ・ 質疑の中で、大学内での課題をきっちり上げて共有できる体制がある(先生方がいる)ことは、大学・アカデミーの本質をしっかりとっておられると感じました。このような機会、意見を言い合える場が大学(三重大学)の意識の高さを表していると思いました。
- ・ おかげさまで合理的配慮がよくわかりました。事例(対応例)が特に役に立ちそうです。さらに知りたいこと:様々な障がい(発達、精神等)への対応の仕方←個性があるのでどこまで一般化ができるかわかりませんが、例をたくさん見てみたいと思います。思った以上に良い学びの場でした。ありがとうございました。
- ・ 二次まとめについて理解を深められなかった。
- ・ 豊富な事例を交えたご講演はとてもわかりやすく、とても勉強になりました。
- ・ 日々対応に苦慮することが多く、有益な情報をいただくことができた。特に厳格なルール化が必要であるとの点が有益な情報だった。教員個人では「保護者」対応に苦慮することが多く、もし、貴大学でこの点につき体制上取りくみをなさっているのならば、お知恵をいただきたい。

- ・入学時は未成年なので親からの申し出の比重が重みをもちます。発達障がいあるいはパニック障害の学生の場合、本人は配慮を希望しないが親御さんは是非とも配慮を望む場合、親御さんの意見はどこまで反映すべきでしょうか。(入学時に親御さんから申込があるが、入学後本人の意志を確認すると本人は望んでいない、知られたくないという場合など。)
- ・考え方について具体例があり理解しやすかった。対人コミュニケーション障害の例で、特定の受験生のみ面接時間を長くするのは、逆差別に該当するのではないか(特に入試では)?
- ・視野が広がりました。
- ・結果的に、一教員として「受け入れる」以外にないとしか理解できませんでした。少なくとも、現在の日本の大学のシステムでは、障がい学生の受け入れによる様々な負担を大きく受けることになるのは受け持つ教員であり、それを分散できる仕組みもないまま、受け入れろと言われているように感じました。あと、就職と大学教育は、本当に切り離して考えて良いのでしょうか。もし良いのであれば、大学で教員が就職活動に関する業務を行っている現状はおかしいのではないのでしょうか。本当に本人を思うのならば、入学前に、就職との関係を説明した方が良いように思います。
- ・教育の本質を鑑みる／エビデンスの徹底などが、配慮する際に重要であるという点がよく分かった。個別対応が難しいが、ルール化の必要性を実感した。
- ・事例は3つでしたが参考になりました。もっと事例を聞く機会があればよかったです。まとめ⑥の合理的配慮と根拠資料(エビデンス)をめぐる問題に相当する部分、とくにプロセスをどうやっているのかを知りたいです。
- ・障がい学生に対して、合理的配慮を行った場合の当該学生に対する評価について

6 | 今後、開催を希望する障がい学生支援関連のFD 13件

- ・毎年、少しでも多くの教職員に向けてのFDが必要だと思った。特に教員にはたくさん出席して頂く工夫が必要です。
- ・三重大で実際に対応している教員・職員による事例紹介や、情報交換・意見交換会の場が欲しいと思います。
- ・配慮と評価の考え方について知りたい。
- ・本日の柏倉先生のお話は、やはり全教職員が共有すべき内容であると思います。とくに教員に対しては、教育の本質と合理的配慮についての部分は、FDとして実施すべきかと思います。
- ・継続してセミナーの開催をおねがいします
- ・事例とその対応の紹介を御願ひしたい。宜しく御願ひ致します。
- ・障がいの重さの程度や症状、合理的配慮の内容は多岐に渡る為、最終的にはどのケースも個別対応の事例になることが多いと感じています。その為、ケーススタディで、更に実習形式の様なFDがありますと、実用性が高いと思います。
- ・配慮について検討する場合の具体的な方法について
- ・障がい学生の保護者、医師との連携のあり方についてのFD、とりわけ、本人の意思表示前の連携のあり方についてのFDを開催いただきたい。
- ・本来の性の不一致に悩む学生への支援について
- ・職員向けの講習があると、知識が得られて非常にありがたいのですが、そういった機会はございますか?統一的な対応方法がきける日を楽しみにしております。
- ・個々のケースに対して、どう対応すべきか、もしくは、どのような対応が適切だったか、あるいは、障がい学生以外の学生に費やす時間の減少が新しい差別にならないか
- ・平等の観点から、特定の学生のために、多くの準備・対応する時間を要することについて、どう考えれば良いのか?
- ・障がい学生による逆パワハラ的行為にどう対応したら良いのか?
- ・障がい学生では、発達・精神面での障がい学生が多いのですが、医学的にはどう連携していけばいいか話してもらいたいです。

※その他、口頭にて「スクールバスが、車いす対応していない」との意見があった。

IV

学生なんでも相談室

平成30年度 活動報告

1 | 相談・援助活動

(1) 来談者に関する統計

	新規相談受付						案内	Co.による 継続面接	その他の 継続対応	合計
	教育	心理	進路	生活	その他	合計				
4月	4	5	2	0	0	11	167	17	40	235
5月	3	9	1	1	0	14	52	36	57	159
6月	4	7	0	0	0	11	42	47	58	158
7月	4	2	0	0	1	7	27	36	60	130
8月	3	3	0	0	0	6	11	17	44	78
9月	4	1	3	0	1	9	22	30	42	103
10月	2	8	2	0	0	12	42	28	39	121
11月	3	6	1	0	0	10	26	29	42	107
12月	0	6	2	1	0	9	23	28	39	99
1月	1	4	1	1	0	7	23	28	59	117
2月	2	3	1	0	0	6	19	20	42	87
3月	3	0	1	1	0	5	19	14	28	66
合計	33	53	15	4	2	107	473	330	550	1460

※数字はいずれも延べ人数を示す。

※「Co.」は心理カウンセラーを指す。

※「新規相談受付」件数の「その他」は、心理テスト・箱庭療法体験、分類困難な相談等の総数を示す。

※「案内」は事務的な案内や比較的軽微な相談等、およびピアサポーターによる相談対応件数の総数を示す。

※「その他の継続対応」は、主にCo.による担当事例に関する面接室外のケースワーク活動等の総数を示す。

(2) ピアサポーターによる支援活動

- * 新入生を対象とした「なんでも相談」ブースの設置(4月5日、6日; 総合研究棟Ⅱ1階)
- * 新入生交流会「お料理教室」の実施(5月18日; ピアサポートルーム)
- * 北海道大学、東北工業大学、筑波大学、追手門学院大学、松山大学とのskype交流会(5月19日)
- * 名城大学との交流会(5月26日; ピアサポートルーム)
- * 本学における学生支援に取り組む学生団体に関する紹介動画コンテンツ作成(5月)
- * キャリア教育科目に関する履修促進のための冊子制作(6月)
- * 環境ISO学生委員会との共催による七夕イベントの実施(7月8日; ピアサポートルーム)
- * 追手門学院大学との交流会(10月13日; ピアサポートルーム)
- * SA交流会(10月22日; ピアサポートルーム)
- * 秋のクラブ・サークル合同新歓イベントの実施(12月4日; 教養教育棟3号館1121教室)
- * 三重大学アカデミックフェアでの活動報告(2月12日; 三翠ホール)
- * びあのお(全国大学ピアサポーター合同研修会)への参加(3月9日、10日; 北海道大学)

2 | 教育・広報活動

(1) 教育活動

授業の担当(いずれも鈴木によるもの)

教養教育	前期	「ピアサポート実践」※副担当に風間惇希講師(障がい学生支援室)
教養教育	後期	「こころのサポート」
教養教育	後期	「学生生活支援実践」
教養教育	後期	「ピアサポート実践」※主担当は風間惇希講師(障がい学生支援室)
教育学研究科	前期	「学校臨床心理学特論演習」
教育学部	後期	「家族システム支援論」

(2) 広報活動

① 教職員研修(FD・SD)

教養教育院にて講演 「学生間、あるいは学生と教職員間のトラブルを含む事例への対応の実際」(2月27日)

② 広報

- ・ 新入生に対する相談室PRカードの配布
- ・ 来談促進用ポスターの作成と掲示

3 | 研究・研修・講演・地域連携

- ・ 一般社団法人 三重県指定自動車教習所協会法定講習会 基調講演
テーマ「最近の若者の心理的特徴とその対応のコツ」 平成30年6月28日(鈴木)
- ・ 公益社団法人三重県看護協会 三重県保健師助産師看護師実習指導者講習会 講師
テーマ「カウンセリング」 平成29年8月9日(鈴木)
- ・ 三重県立看護大学 ハラスメント防止等に係る研修会【全教職員対象】 講師
テーマ「ハラスメントに係る相談の実際」 平成30年9月6日(鈴木)
- ・ 三重県警察本部 若手警察職員の育成に携わる指導者層への講演会 講師
テーマ「今どきの若者の特性と接し方の工夫」 平成30年11月19日(鈴木)
- ・ 日本学生相談学会 第56回全国学生相談研修会 講師
分科会 A1「学生相談の基礎と実践I」 平成30年12月9日～12月11日(鈴木)
- ・ 岐阜大学 ピアサポート演習(講義) 講師
テーマ「三重大学における取り組み」 平成31年1月22日(鈴木・ピアサポーター学生(岡本、廣))
- ・ 三重県立看護大学 ハラスメント防止等に係る研修会【ハラスメント調整員対象】 講師
テーマ「ハラスメント調整員に求められる対応」 平成31年2月5日(鈴木)

平成30年度 スタッフ

室長	鈴木 英一郎	(学生総合支援センター 講師)
カウンセラー	藤川 和	(非常勤)
	牧野 勢津子	(非常勤)
	早川 史乃	(非常勤)
インターカー	浮田 めぐみ	(事務補佐員)



キャリア支援センター

平成30年度 活動報告

1 | キャリア教育

【平成30年度開講 教養教育 キャリア教育領域一覧】

科目群	授業科目	単位	授業テーマ	担当教員	授業時限		履修者数	
					前期	後期	前期	後期
学生支援	留学生支援実践 (国際理解実践S)	2単位	留学生支援実践	風間 惇希	-	水9・10	-	3(1)
	障がい学生支援実践 (現代社会理解実践S)	2単位	障がい学生への支援	栗田 季佳 他	-	火3・4	-	23(17)
	ピアサポート実践	2単位	ピアサポート実践	鈴木 英一郎 他	金9・10	-	6	-
		2単位	ピアサポート実践	風間 惇希	-	金9・10	-	4
	学生生活支援実践	2単位	学生生活支援実践	鈴木 英一郎	-	水5・6	-	19
	学習支援実践	2単位	学習支援実践A	長濱 文与	木3・4	-	0	-
		2単位	学習支援実践B	風間 惇希	水9・10	-	9	-
広報誌編集実践	2単位	広報誌編集実践	長屋 祐一 他	-	木7・8	-	18	
就業力育成	キャリアプランニング入門	2単位	キャリアデザイン	風間 惇希	水5・6	-	32	-
		2単位		長谷川 岳雄	水7・8	-	68	-
		2単位			-	月7・8	-	69
	インターンシップ入門	2単位	インターンシップ	長谷川 岳雄	月7・8	-	5	-
	キャリアイベント実践	2単位	問題を解決する技術		-	水9・10	-	3
	キャリア形成論	2単位	考える&伝える技術		水5・6	-	25	-
	企業研究入門	2単位	企業・社会人を知る		-	水7・8	-	20
	アントレプレナー論 (日本理解特殊講義S)	2単位	起業マインドの醸成	松岡 守 他	-	水3・4	-	11(17)
	地域と仕事 (日本理解特殊講義S)	2単位	地域の仕事を知る	西村 訓弘 他	月7・8	-	56(34)	-
	社会連携型実践	2単位	社会連携型実践	西村 訓弘 他	-	月7・8	-	6
知財学	2単位	発明学入門	松岡 守 他	火9・10	-	2	-	
心的援助・マネジメント	こころのサポート (こころのサポート)	2単位	こころのサポート	鈴木 英一郎	-	水9・10	-	28(16)
		2単位	こころのサポート	望木 郁代	木1・2	-	9(58)	-
		2単位	こころのサポート		-	木5・6	-	12(49)
	A-Iポジティブ思考法 (心理学S)	2単位	A-Iポジティブ思考法	川島 一晃	-	集中	-	1(19)

()は教養統合科目で外数

計 8科目 12科目 212(92) 217(119)

合計 304 336

2 | インターンシップ

【平成30年度 所属別・学年別参加者数】

延べ数

所属	学部生					大学院生			合計
	1年	2年	3年	4年	小計	修士	博士	小計	
人文学部	7	4	419	3	433			0	433
教育学部		1	23		24			0	24
医学部		1			1		2	2	3
工学部	12		218	7	237	78	1	79	316
生物資源学部	20	38	157	4	219	16	2	18	237
地域イノベーション学研究科	-	-	-	-	0	11		11	11
非正規生	4				4			0	4
合計	43	44	817	14	918	105	5	110	1028

○企業等受入数 544機関

○事前研修会／説明会 876名

5月12日(土)10:00～15:10 講堂大ホール他にて

5月23日(水)13:00～14:30 講堂小ホール他にて

○事後研修会 92名

10月17日(水)16:30～18:00 講堂小ホールにて

3 | 就職活動支援

(1) 就職ガイダンス

・平成30年4月～平成31年3月 30回実施 講堂大ホール他

・参加学生数 延べ 8,078人

参加数	NO	日程	曜日	時間帯	場所	ガイダンス名	講師
742	1	4月18日	(水)	①13:30～14:30 ②14:40～15:30	講堂大ホール	①就活スケジュール等、 就職活動について全般(就活手帳配布) ②職務適性テスト実施	マイナビ ディスコ
		4月19日	(木)	①16:30～18:00 ②18:10～19:00			
		4月20日	(金)	①16:30～18:00 ②18:10～19:00			
182	2	5月9日	(水)	13:00～14:30 16:30～18:00	講堂小ホール	公務員試験対策説明会	大学生協
146	3	5月30日	(水)	①13:00～14:30 ②14:45～16:15 ③16:30～18:00	第5会議室 (総合研究棟II2階)	インターンシップ履歴書書き方講座	キャリア 支援センター
		5月31日	(木)	16:30～18:00			
		6月1日	(金)	16:30～18:00			

参加数	NO	日程	曜日	時間帯	場所	ガイダンス名	講師
146	3	6月5日	(火)	16:30~18:00	第5会議室 (総合研究棟II2階)	インターンシップ履歴書書き方講座	キャリア 支援センター
		6月7日	(木)	16:30~18:00			
429	4	6月6日	(水)	13:00~14:30 16:30~18:00	講堂大ホール	業界・企業・職種研究講座 職務適正テスト結果を活用した インターンシップの探し方 - 自己分析 -	ディスコ
		6月8日	(金)	16:30~18:00			
136	5	6月20日	(水)	①13:00~14:30 ②14:45~16:15 ③16:30~18:00	第5会議室 (総合研究棟II2階)	インターンシップエントリーシート書き方講座	マイナビ
		6月22日	(金)	①13:00~14:30 ②14:45~16:15 ③16:30~18:00			
184	6	7月4日	(水)	13:00~14:30 16:30~18:00	講堂小ホール	筆記試験対策	マイナビ
41+ 学外1	7	9月22日	(土)	終日	学外 (県営サンアリーナ他)	企業研究会in伊勢志摩(参加企業31社)	キャリア 支援センター
10+ 学外1	8	9月26日	(水)	13:00~17:00	メディアホール	企業説明会&マッチング会(参加企業10社)	キャリア 支援センター
29+ 学外21	9	10月6日	(土)	終日	学外 (熊野古道センター他)	企業研究会in東紀州(参加企業13社)	キャリア 支援センター
668 (うち学生 122)	10	10月13日	(土)	10:30~12:00	講堂大ホール	[第1部] 保護者向け「就職活動」についての説明会	リクルートキャリア
				午後	講堂小ホール・ 各会場にて	[第2部] 学部別保護者向け説明会	各学部
5	11	10月18日	(木)	13:00~14:30	第5会議室 (総合研究棟II2階)	内定者向けセミナー	おしごと広場みえ
328	12	11月6日	(火)	16:30~18:00	講堂大ホール	秋冬インターンシップに向けて - 企業研究 -	マイナビ
		11月7日	(水)	16:30~18:00			
54	13	11月14日	(水)	13:00~15:00 16:30~18:30	第5会議室 (総合研究棟II2階)	ES対策 - 自己PR編 -	キャリア 支援センター
		11月16日	(金)	16:30~18:30			
49	14	11月17日	(土)	終日	学外 (ハイトピア伊賀他)	企業研究会in伊賀(参加企業18社)	キャリア 支援センター
68	15	11月20日	(火)	16:30~18:30	第5会議室 (総合研究棟II2階)	ES対策 - 志望動機編 -	マイナビ
		11月21日	(水)	13:00~15:00 16:30~18:30			
256	16	11月28日	(水)	13:00~16:10	講堂にて	三重県内企業研究会(参加企業50社)	キャリア 支援センター
55	17	11月27日	(火)	13:30~16:30	第5会議室 (総合研究棟II2階)	エントリーシート添削会	キャリア 支援センター
		12月6日	(木)	13:30~17:00			
		1月11日	(金)	13:30~17:00			
		1月21日	(月)	13:30~17:00			
		2月15日	(金)	13:30~17:00			
66	18	12月5日	(水)	13:00~15:00 16:30~18:30	第5会議室 (総合研究棟II2階)	ワーク!グループディスカッション	マイナビ

参加数	NO	日程	曜日	時間帯	場所	ガイダンス名	講師
66	18	12月7日	(金)	16:30~18:30	第5会議室 (総合研究棟II2階)	ワーク!グループディスカッション	マイナビ
84	19	12月12日	(水)	16:20~18:20	環境・情報科学館 (メーブル館)	プレミアムエースセミナー(県外企業6社)	キャリア 支援センター
35	20	12月19日	(水)	16:20~18:00	環境・情報科学館 (メーブル館)	プレミアムエースセミナー(県外企業7社)	キャリア 支援センター
41+ 学外3	21	12月15日	(土)	終日	学外 (ハイトピア伊賀他)	企業研究会in伊賀(参加企業18社)	キャリア 支援センター
228	22	1月9日	(水)	16:30~18:00	医学部 臨床第三講義室	就職活動直近ガイダンス	マイナビ
155	23	1月16日	(水)	13:00~16:10	講堂にて	公務員業務説明会	キャリア 支援センター
204	24	1月23日	(水)	16:30~18:00	講堂大ホール	面接対策	マイナビ
125	25	1月30日	(水)	16:30~18:00	講堂小ホール	学内企業説明会まわり方講座	アクセスヒュー マネクスト
5	26	2月6日	(水)	13:00~14:30	共用セミナー室 (総合研究棟II1階)	新社会人向けセミナー	おしごと広場みえ
149	27	2月13日	(水)	①10:30~12:00 ②13:00~14:30 ③14:50~16:20	第5会議室他 (総合研究棟II2階)	実践!集団面接	マイナビ
		2月27日	(水)	①10:30~12:00 ②13:00~14:30 ③14:50~16:20			
51	28	2月13日	(水)	16:30~18:00	第1食堂2階	食品業界研究会(参加企業7社)	キャリア 支援センター
22+ 学外28	29	2月21日	(木)	13:30~16:00	講堂小ホール	三重学就連グループディスカッション (県内5大学・4短大参加)	三重学就連
3477	30	3月4日(月)~3月7日(木)の4日間			講堂にて	学内企業説明会	キャリア 支援センター

(2)ミニ講座(少人数制：個人面接・集団面接・グループディスカッション対策)

- ・平成30年4月~平成31年3月 24回実施 第5会議室 他
- ・参加学生数 延べ120人

	実施日	内容	参加数		実施日	内容	参加数
1	4/11	集団面接対策	6	13	7/2	グループディスカッション(集団討論)対策	5
2	4/11	個人面接対策	5	14	7/11	個人面接対策	5
3	4/13	個人面接対策	6	15	7/13	グループディスカッション(集団討論)対策	5
4	4/16	集団面接対策	5	16	7/18	個人面接対策	4
5	4/16	個人面接対策	3	17	7/27	個人面接対策	6
6	4/25	個人面接対策	7	18	10/2	個人面接対策	2
7	5/7	個人面接対策	3	19	10/3	グループディスカッション(集団討論)対策	5
8	5/10	個人面接対策	7	20	10/10	個人面接対策	4
9	5/16	個人面接対策	7	21	3/13	個人面接対策	5
10	5/28	個人面接対策	7	22	3/22	個人面接対策	6
11	5/30	個人面接対策	3	23	3/29	集団面接対策	5
12	6/29	個人面接対策	5	24	3/29	個人面接対策	4
計							120

(3) 就職相談

・キャリアカウンセラー就職相談〔就職相談コーナー〕

【月別・相談内容別件数】

延べ数

	就職相談	進路決定 相談	内定・内 定の相談	履歴書 作成	エントリー シート作成	志望動機	自己PR	面接	メンタル 面	自己分析	その他	合計
4月	39	6	2	15	41	5	4	97	1	1	1	212
5月	50	5	25	16	46	3	1	66	1	1	3	217
6月	26	0	22	13	72	3	2	56	1	0	8	203
7月	39	3	8	4	68	2	1	79	0	0	6	210
8月	21	1	6	3	29	5	3	55	0	0	4	127
9月	19	0	9	4	10	1	1	27	1	1	26	99
10月	51	0	5	12	21	2	0	45	1	1	13	151
11月	38	4	7	3	25	1	3	19	0	1	8	109
12月	51	3	3	4	43	0	5	22	0	6	7	144
1月	42	5	4	11	64	2	8	28	0	8	3	175
2月	48	3	1	10	97	1	15	50	1	1	6	233
3月	24	1	1	7	149	8	4	69	0	1	6	270
合計	448	31	93	102	665	33	47	613	6	21	91	2150

4 | キャリアピアサポーター

○平成30年度(前期)資格認定者	上級	0人
	初級	2人
○平成30年度(後期)資格認定者	上級	4人
	初級	37人
	合計	43人

平成30年度就職状況について

【地域別就職状況及び就職率】

令和元年5月1日現在

区分	卒業・修了者	卒業・修了者の内訳											就職率(%) (就職希望者に占める就職者の割合)				
		進学者	臨床研修医	その他	うち未内定者	就職者	就職先						平成30年度		(参考) 平成29年度 就職率(%)	(参考) 平成28年度 就職率(%)	
							三重県	愛知県	東海地方 (静岡・岐阜)	関東地方	近畿地方	その他	就職率(%)	対前年度増減(%)			
人文学部	文化学専攻	114 (88)	4 (2)	8 (5)	3 (3)	102 (81)	35 (25)	33 (27)	3 (3)	20 (18)	7 (6)	4 (2)	97.1 (96.4)	0.1 (△ 2.2)	97.0 (96.6)	95.6 (95.7)	
	法律経済学専攻	189 (88)	7 (5)	10 (4)	3 (1)	171 (77)	40 (21)	66 (28)	11 (1)	39 (20)	10 (5)	5 (2)	98.3 (98.7)	△ 0.6 (△ 1.3)	98.9 (100.0)	98.3 (97.8)	
計		302 (174)	11 (7)	18 (9)	6 (4)	273 (158)	75 (46)	99 (55)	14 (4)	59 (38)	17 (11)	9 (4)	97.8 (97.5)	△ 0.4 (△ 1.8)	98.2 (99.3)	97.4 (96.9)	
教育学部	学校教育教員養成課程	195 (116)	15 (4)	7 (5)	2 (2)	173 (107)	101 (60)	38 (22)	7 (4)	11 (8)	8 (6)	8 (7)	98.9 (98.2)	0.7 (1.4)	98.2 (96.8)	99.2 (98.7)	
	情報教育課程	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	100.0 ()	100.0 ()	
	生涯教育課程	1 ()	()	()	()	1 ()	1 ()	()	()	()	()	()	100.0 ()	()	()	100.0 ()	
	人間発達科学課程	31 (23)	4 (3)	7 (5)	1 (1)	20 (15)	6 (5)	8 (7)	1 ()	3 (1)	1 (1)	1 (1)	95.2 (93.8)	1.1 ()	94.1 (93.8)	94.1 (93.3)	
計		227 (139)	19 (7)	14 (10)	3 (3)	194 (122)	108 (65)	46 (29)	8 (4)	14 (9)	9 (7)	9 (8)	98.5 (97.6)	0.6 (1.2)	97.9 (96.4)	98.8 (98.2)	
医学部	医学専攻	119 (43)	()	111 (40)	8 (3)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	看護学専攻	77 (73)	()	1 (1)	()	76 (72)	56 (52)	16 (16)	()	()	1 (1)	3 (3)	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
計		196 (116)	()	111 (40)	9 (4)	76 (72)	56 (52)	16 (16)	()	()	1 (1)	3 (3)	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
工学部	機械工学専攻	94 (3)	58 (2)	()	()	36 (1)	9 ()	17 ()	2 ()	6 (1)	2 ()	()	100.0 (100.0)	2.6 ()	97.4 (100.0)	100.0 (100.0)	
	電気電子工学専攻	86 (6)	50 (4)	()	()	36 (2)	4 ()	21 (2)	1 ()	()	()	1 ()	100.0 (100.0)	2.1 ()	97.9 (100.0)	100.0 (100.0)	
	分子素材工学専攻	99 (21)	59 (5)	()	2 ()	38 (16)	13 (6)	15 (8)	1 ()	7 (1)	2 (1)	()	95.0 (100.0)	△ 5.0 ()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	建築学専攻	52 (25)	23 (12)	()	1 (1)	28 (12)	()	6 (5)	()	15 (3)	7 (4)	()	100.0 (100.0)	5.1 (7.7)	94.9 (92.3)	92.6 (66.7)	
	情報工学専攻	47 (4)	21 (1)	()	1 ()	25 (3)	3 ()	11 (2)	2 ()	6 (1)	2 ()	1 ()	96.2 (100.0)	△ 3.8 ()	100.0 (100.0)	96.7 (100.0)	
計		418 (62)	231 (26)	()	8 (1)	179 (35)	34 (6)	77 (18)	6 ()	42 (6)	18 (5)	2 ()	98.4 (100.0)	0.4 (2.5)	98.0 (97.5)	97.7 (95.5)	
生物資源学部	資源循環学専攻	68 (29)	18 (4)	()	1 ()	49 (25)	11 (4)	20 (12)	3 (1)	8 (4)	5 (2)	2 (2)	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	97.9 (100.0)	
	共生環境学専攻	76 (23)	26 (4)	()	2 (1)	48 (18)	8 ()	18 (8)	3 ()	7 (3)	9 (6)	3 (1)	100.0 (100.0)	5.0 (4.0)	95.0 (96.0)	100.0 (100.0)	
	生物圏生命科学専攻	103 (49)	32 (11)	()	5 (1)	66 (37)	10 (4)	18 (8)	8 (5)	12 (8)	13 (11)	5 (1)	100.0 (100.0)	6.7 (3.1)	93.3 (96.9)	98.1 (96.4)	
計		247 (101)	76 (19)	()	8 (2)	163 (80)	29 (8)	56 (28)	14 (6)	27 (15)	27 (19)	10 (4)	100.0 (100.0)	4.2 (2.3)	95.8 (97.7)	98.8 (98.8)	
合計		1,390 (592)	337 (59)	111 (40)	57 (26)	885 (467)	302 (177)	294 (146)	42 (14)	142 (68)	72 (43)	33 (19)	98.7 (98.5)	0.9 (0.3)	97.8 (98.2)	98.3 (98.0)	
人文社会科学部	地域文化論専攻	7 (4)	()	()	2 ()	()	3 (2)	2 (2)	()	()	()	()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	80.0 (100.0)	
	社会科学専攻	3 (2)	()	()	()	3 (2)	1 (1)	1 ()	()	1 (1)	()	()	100.0 (100.0)	12.5 ()	87.5 (100.0)	66.7 ()	
	計	10 (6)	()	()	2 ()	8 (6)	4 (3)	3 (2)	()	1 (1)	()	()	100.0 (100.0)	7.7 ()	92.3 (100.0)	75.0 (100.0)	
教育学研究科	教育科学専攻	20 (8)	()	()	2 (1)	18 (7)	15 (6)	1 ()	()	()	2 (1)	()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	教職実践高度化専攻	15 (8)	()	()	()	15 (8)	15 (8)	()	()	()	()	()	100.0 (100.0)	()	()	()	
計		35 (16)	()	()	2 (1)	33 (15)	30 (14)	1 ()	()	()	2 (1)	()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
医学系研究科	医学専攻(修士課程)	10 (3)	4 ()	()	1 (1)	5 (2)	3 ()	()	2 (2)	()	()	()	100.0 (100.0)	()	100.0 ()	100.0 (100.0)	
	看護学専攻(修士課程)	2 (1)	()	()	()	2 (1)	2 (1)	()	()	()	()	()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	看護学専攻(博士課程前期)	9 (9)	1 (1)	()	2 (2)	6 (6)	5 (5)	1 (1)	()	()	()	()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	()	
	看護学専攻(博士課程後期)	1 (1)	()	()	()	1 (1)	()	()	()	()	1 (1)	()	100.0 (100.0)	()	()	()	
	生命医学専攻(博士課程)	57 (19)	()	()	4 (1)	53 (18)	46 (13)	1 (1)	()	2 (1)	4 (3)	()	100.0 (100.0)	2.4 ()	97.6 (100.0)	100.0 (100.0)	
	計	79 (33)	5 (1)	()	7 (4)	67 (28)	56 (19)	2 (2)	2 (2)	2 (1)	5 (4)	()	100.0 (100.0)	1.8 ()	98.2 (100.0)	100.0 (100.0)	
工学研究科	機械工学専攻	51 (1)	1 ()	()	()	50 (1)	3 ()	26 ()	1 ()	13 (1)	7 ()	()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	電気電子工学専攻	47 (1)	()	()	1 ()	46 (1)	1 ()	29 (1)	()	8 ()	7 ()	1 ()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	分子素材工学専攻	57 (9)	()	()	()	57 (9)	4 (1)	28 (5)	2 ()	13 (2)	9 (1)	1 ()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	建築学専攻	20 (7)	()	()	2 (2)	18 (5)	()	5 (2)	()	7 (2)	5 (1)	1 ()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	情報工学専攻	25 (1)	()	()	()	25 (1)	2 ()	8 (1)	()	8 ()	5 ()	2 ()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	物理工学専攻	16 ()	()	()	1 ()	15 ()	()	11 ()	()	3 ()	1 ()	()	100.0 ()	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	計(博士前期)	216 (19)	1 ()	()	4 (2)	211 (17)	10 (1)	107 (9)	3 ()	52 (5)	34 (2)	5 ()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
材料科学専攻	5 ()	()	()	()	5 ()	3 ()	1 ()	()	1 ()	()	()	100.0 ()	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)		
システム工学専攻	1 ()	()	()	()	1 ()	1 ()	()	()	()	()	()	100.0 ()	28.6 ()	71.4 (100.0)	83.3 ()		
計(博士後期)		6 ()	()	()	()	6 ()	4 ()	1 ()	()	1 ()	()	()	100.0 ()	15.4 ()	84.6 (100.0)	91.7 (100.0)	
生物資源学研	資源循環学専攻	17 (6)	()	()	6 (1)	11 (5)	4 (2)	2 (1)	1 ()	1 (1)	2 (1)	1 ()	100.0 (100.0)	5.0 (11.1)	95.0 (88.9)	100.0 (100.0)	
	共生環境学専攻	21 (2)	()	()	4 ()	17 (2)	1 ()	5 ()	()	5 (1)	5 (1)	1 ()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	生物圏生命科学専攻	39 (16)	1 (1)	()	2 (1)	36 (14)	11 (5)	6 (2)	4 (2)	6 (2)	9 (3)	()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	計(博士前期)	77 (24)	1 (1)	()	12 (2)	64 (21)	16 (7)	13 (3)	5 (2)	12 (4)	16 (5)	2 ()	100.0 (100.0)	1.4 (3.8)	98.6 (96.2)	100.0 (100.0)	
	資源循環学専攻	7 (1)	()	()	5 (1)	2 ()	1 ()	()	()	1 ()	()	()	100.0 ()	()	100.0 ()	100.0 (100.0)	
共生環境学専攻	5 (1)	()	()	4 (1)	1 ()	1 ()	()	1 ()	()	()	()	100.0 ()	50.0 ()	50.0 ()	100.0 (100.0)		
生物圏生命科学専攻	3 (1)	()	()	3 (1)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	77.8 (100.0)	100.0 (100.0)		
計(博士後期)		15 (3)	()	()	12 (3)	3 ()	1 ()	()	1 ()	1 ()	()	()	100.0 ()	25.0 ()	75.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
地域イノベーション学研	地域イノベーション学専攻(博士前期)	10 (1)	()	()	()	10 (1)	4 ()	2 ()	()	3 (1)	1 ()	()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	計	10 (1)	()	()	()	10 (1)	4 ()	2 ()	()	3 (1)	1 ()	()	100.0 (100.0)	()	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	
	地域イノベーション学専攻(博士後期)	4 (1)	()	()	()	4 (1)	2 ()	()	()	2 (1)	()	()	100.0 (100.0)	()	100.0 ()	100.0 (100.0)	
計		4 (1)	()	()	()	4 (1)	2 ()	()	()	2 (1)	()	()	100.0 (100.0)	()	100.0 ()	100.0 (100.0)	
合計		452 (103)	7 (2)	()	39 (12)	()	406 (89)	127 (44)	129 (16)	11 (4)	74 (13)	58 (12)	7 ()	100.0 (100.0)	1.9 (1.2)	98.1 (98.8)	99.2 (100.0)

(注)博士課程、博士後期課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。

()内は、女子学生数を内数で示す。

区分	卒業・修了者	就職者	就職者の内訳																				
			農業、林業 漁業、鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水 道業	情報通信業	運輸業、 郵便業	卸売・小売業	金融業・ 保険業	不動産業・ 物品賃貸業	学術研究専門・ 技術サービス業	宿泊業、 飲食サービス業	生活関連サー ビス業、娯楽業	教育、学習支援業		医療、福祉	複合サービス事 業	サービス業	公務	その他		
															(内、教員数)	(内、教員数)							
人文学部	文化学科	114 (88)	102 (81)	()	2 ()	13 (12)	1 (1)	16 (14)	5 (3)	11 (8)	7 (5)	5 (5)	3 (3)	2 (1)	()	11 (7)	3 (1)	5 (5)	2 (2)	2 (1)	17 (14)	()	
	法律経済学科	188 (86)	171 (77)	()	4 (1)	25 (10)	()	25 (11)	7 (3)	10 (5)	18 (10)	3 (2)	9 (4)	()	2 (1)	4 (1)	()	8 (6)	3 (2)	1 ()	52 (21)	()	
計		302 (174)	273 (158)	()	6 (1)	38 (22)	1 (1)	41 (25)	12 (6)	21 (13)	25 (15)	8 (7)	12 (7)	2 (1)	2 (1)	15 (8)	3 (1)	13 (11)	5 (4)	3 (1)	69 (35)	()	
教育学部	学校教育教員養成課程	195 (116)	173 (107)	()	1 (1)	6 (2)	()	4 (3)	1 (1)	3 (3)	2 (1)	3 (2)	1 (1)	()	1 (1)	123 (68)	119 (65)	6 (6)	()	2 (2)	19 (16)	1 ()	
	情報教育課程	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	生涯教育課程	1 ()	1 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 ()	1 ()	()	()	()	()	()	()	
	人間発達科学課程	31 (23)	20 (15)	()	()	1 (1)	()	3 (3)	()	1 (1)	3 (2)	()	2 ()	1 ()	1 (1)	6 (5)	4 (3)	()	()	()	2 (2)	()	
計		227 (139)	194 (122)	()	1 (1)	7 (3)	()	7 (6)	1 (1)	4 (4)	5 (3)	3 (2)	3 (1)	1 ()	2 (2)	130 (73)	124 (68)	6 (6)	()	2 (2)	21 (18)	1 ()	
医学部	医学科	119 (43)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	看護学科	77 (73)	76 (72)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	72 (68)	()	()	4 (4)	()	
計		196 (116)	76 (72)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	72 (68)	()	()	4 (4)	()	
工学部	機械工学科	94 (3)	38 (1)	()	1 ()	28 (1)	()	()	1 ()	1 ()	()	()	3 ()	()	1 ()	()	()	()	()	()	1 ()	()	
	電気電子工学科	86 (6)	38 (2)	()	2 ()	23 (2)	3 ()	4 ()	()	()	1 ()	2 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 ()	()	
	分子素材工学科	99 (21)	38 (16)	()	()	26 (10)	()	()	()	()	()	4 (2)	()	()	1 ()	()	()	1 (1)	()	2 (1)	2 (1)	()	
	建築学科	52 (25)	28 (12)	1 ()	17 (6)	1 (1)	()	1 (2)	28 (12)	()	()	4 (3)	()	()	()	()	()	()	()	()	4 (2)	()	
	情報工学科	47 (4)	25 (3)	()	()	13 ()	()	9 (2)	()	()	()	2 (1)	()	()	()	()	()	()	()	()	1 ()	()	
	物理工学科	40 (3)	16 (1)	()	()	11 (1)	()	3 ()	()	()	()	1 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
計		418 (62)	179 (35)	1 ()	20 (6)	102 (15)	3 ()	19 (3)	1 ()	1 ()	1 ()	16 (6)	()	()	2 ()	()	1 (1)	()	2 (1)	10 (3)	()		
生物資源学部	資源循環学科	68 (29)	49 (25)	5 (3)	1 (1)	15 (8)	()	5 (3)	1 ()	3 (2)	()	1 ()	2 ()	2 (1)	1 (1)	1 ()	1 ()	()	3 (3)	1 (1)	8 (2)	()	
	共生環境学科	76 (23)	48 (18)	2 ()	6 (2)	10 (4)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 ()	1 (1)	()	3 ()	1 (1)	1 ()	1 ()	()	1 (1)	1 ()	17 (6)	()		
	生物圏生命科学科	103 (49)	66 (37)	()	1 (1)	34 (19)	()	3 (1)	2 (1)	2 (1)	2 ()	7 (5)	()	()	3 (2)	1 (1)	()	1 (1)	()	11 (6)	()		
	計	247 (101)	163 (80)	7 (3)	8 (4)	59 (31)	1 (1)	9 (5)	4 (2)	7 (3)	3 (1)	1 ()	12 (5)	3 (2)	1 (1)	5 (2)	3 (1)	()	5 (5)	2 (1)	36 (14)	()	
合計		1,390 (592)	885 (467)	8 (3)	35 (12)	206 (71)	5 (2)	76 (39)	18 (9)	33 (20)	33 (19)	13 (9)	43 (19)	6 (3)	5 (4)	152 (83)	130 (70)	92 (86)	10 (9)	9 (5)	140 (74)	1 ()	
人文社会科学部	地域文化論専攻	7 (4)	5 (4)	()	()	1 (1)	()	()	()	1 (1)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	2 (2)	()	
	社会科学専攻	3 (2)	3 (2)	()	()	()	()	1 (1)	()	()	()	()	()	()	1 (1)	()	()	()	()	()	1 ()	()	
計		10 (6)	8 (6)	()	()	1 (1)	()	1 (1)	()	1 (1)	()	()	()	()	1 (1)	()	()	1 ()	()	()	3 (2)	()	
教育学研究科	教育学専攻	20 (8)	18 (7)	()	()	1 ()	()	1 (1)	()	()	()	()	()	()	()	12 (3)	12 (3)	2 (2)	()	()	2 (1)	()	
	教職実践高度化専攻	15 (8)	15 (8)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	15 (8)	15 (8)	()	()	()	()	()	
計		35 (16)	33 (15)	()	()	1 ()	()	1 (1)	()	()	()	()	()	()	()	27 (11)	27 (11)	2 (2)	()	()	2 (1)	()	
医学系研究科	医科学専攻(修士課程)	10 (3)	5 (2)	()	()	1 ()	()	()	()	()	()	2 (2)	()	()	()	()	()	2 ()	()	()	()	()	
	看護学専攻(修士課程)	2 (1)	2 (1)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	2 (1)	()	()	()	()	
	看護学専攻(博士課程前期)	9 (9)	6 (6)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 (1)	1 (1)	5 (5)	()	()	()	()	
	看護学専攻(博士課程後期)	1 (1)	1 (1)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 (1)	1 (1)	()	()	()	()	()	
	生命医科学専攻(博士課程)	57 (19)	53 (18)	()	()	()	()	()	()	()	()	1 ()	()	()	9 (5)	7 (4)	43 (13)	()	()	()	()	()	
	計		79 (33)	67 (28)	()	()	1 ()	()	()	()	()	()	3 (2)	()	()	11 (7)	9 (6)	52 (19)	()	()	()	()	()
工学研究科	機械工学専攻	51 (1)	50 (1)	()	()	48 (1)	()	1 ()	()	()	()	1 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	電気電子工学専攻	47 (1)	46 (1)	()	()	37 ()	2 ()	()	()	()	()	7 (1)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	分子素材工学専攻	57 (9)	57 (9)	()	()	56 (9)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 ()	()	
	建築学専攻	20 (7)	18 (5)	()	7 ()	1 (1)	1 (1)	()	()	()	()	8 (2)	()	()	()	()	()	()	()	1 (1)	()	()	
	情報工学専攻	25 (1)	25 (1)	()	()	20 (1)	()	3 ()	()	()	()	2 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	物理工学専攻	16 ()	15 ()	()	()	12 ()	()	()	()	()	()	3 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
	計(博士前期)		216 (19)	211 (17)	()	7 ()	174 (12)	3 (1)	4 ()	()	()	()	21 (3)	()	()	()	()	()	()	1 (1)	()	1 ()	()
	材料科学専攻	5 ()	5 ()	()	()	1 ()	()	1 ()	()	()	()	1 ()	()	()	()	1 ()	1 ()	()	()	()	()	1 ()	()
システム工学専攻	1 ()	1 ()	()	()	1 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
計(博士後期)		6 ()	6 ()	()	()	2 ()	()	1 ()	()	()	()	1 ()	()	()	1 ()	1 ()	()	()	()	()	1 ()	()	
生物資源学研	資源循環学専攻	17 (6)	11 (5)	()	()	3 (2)	()	2 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	3 (2)	()	3 (1)	()	
	共生環境学専攻	21 (2)	17 (2)	()	()	8 (1)	1 ()	4 ()	()	1 (1)	()	2 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 ()	()	
	生物圏生命科学専攻	39 (16)	36 (14)	1 (1)	2 (1)	21 (6)	()	3 (2)	()	2 (1)	()	2 ()	1 (1)	()	2 (1)	2 (1)	1 (1)	()	()	()	1 ()	()	
	計(博士前期)		77 (24)	64 (21)	1 (1)	2 (1)	32 (9)	1 ()	9 (2)	()	3 (2)	()	4 ()	1 (1)	()	2 (1)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	()	5 (1)	()	
	資源循環学専攻	7 (1)	2 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 ()	()	
	共生環境学専攻	5 (1)	1 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 ()	()	()	()	()	()	()	()	
生物圏生命科学専攻	3 (1)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()		
計(博士後期)		15 (3)	3 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 ()	()	()	1 ()	()	()	()	()	()	1 ()	()	
地域イノベーション学研	地域イノベーション学専攻(博士前期)	10 (1)	10 (1)	()	()	6 ()	()	1 ()	()	()	()	1 (1)	()	()	1 ()	()	()	()	()	()	1 ()	()	
	計		10 (1)	10 (1)	()	()	6 ()	()	1 ()	()	()	()	1 (1)	()	()	1 ()	()	()	()	()	()	1 ()	()
	地域イノベーション学専攻(博士後期)	4 (1)	4 (1)	()	()	2 ()	()	2 ()	()	()	()	()	1 ()	()	1 (1)	()	()	()	()	()	()	()	
計		4 (1)	4 (1)	()	()	2 ()	()	2 ()	()	()	()	()	1 ()	()	1 (1)	()	()	()	()	()	()	()	
合計		452 (103)	408 (89)	1 ()	9 (1)	219 (22)	4 (1)	17 (4)	()	4 (3)	()	()	31 (6)	2 (1)	1 (1)	44 (20)	39 (18)	56 (22)	4 (3)	()	14 (4)	()	

(注)博士課程、博士後期課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。

()内は、女子学生数を内数で示す。



SA(スチューデント・アシスタント)

SA(スチューデント・アシスタント)の 取り組みをふりかえって

－ SAとして活躍する先輩から学ぶ －

SA(Student Assistant)の取り組みとは、キャリア・ピアサポーター上級資格を取得した学生を活用する学生支援施策である。本学では、仲間が仲間を支援するというこの相互支援の取り組みの本質は、“大学という一つの社会の中で様々な体験をすることは自身のキャリア(生き方)に寄与する”という観点から「キャリア・ピアサポーター」と呼称し、学生個々人のその人らしさを活かした、ピア(仲間)を支援することを推進している。キャリア・ピアサポーターには、初級資格と上級資格が設けられている。学生が支援に関連する様々な知識・技能・態度を高めることのできる講義・演習を一定数受講することで、これらの資格を取得できるという資格教育プログラムが設置されている。

キャリア・ピアサポーター上級資格を取得するまでに、学生は、他者に対する学生支援(ファシリテーション)を実践的に学ぶ講義・演習科目(学習支援実践)や、他者に対する心理的支援を実践的に学ぶ講義・演習科目(こころのサポート)を必修科目として、単位取得しなくてはならない。SAとなる学生の力量を保証するため、他者への配慮や支援方法などについて学ぶことになっている。SAとして、ただの授業準備や配布物の配布補助ではなく、受講生のグループディスカッションへの参加を促すファシリテーションや、受講生の学びをより深めるための支援が望まれている。本学では、教職員ではなく、学生同士、先輩だからこそできる学習支援、学生支援を目指しているのである。

学習支援実践という授業科目は、他者に対する学習支援実践を学びながら、先輩SAの学習支援やサポートを受けるといった構造になっている。先輩SAからの学習支援やサポートを受けながらも、その支援の方法や内容等をモデルとして学ぶことができるのである。学習支援実践を受けた学生たちに、「この授業で何を学び、SAとなったときにどう生かすか」聞いたところ、先輩SAからの具体的な学習支援やサポートを例に挙げながら、「答えを本人から導くことができるように、一人ひとりの個性を見る、見つけることが大事だと思った」、「学生のグループ活動への接し方と、個々の学生への接し方のバランスを学んだ」、「学習者がどれくらい理解しているかを把握したうえで、話し合いが詰まったとき等にタイミングよく必要なサポートをくれた」、「SA自身が親しみやすく、前向きな姿勢で取り組んでいて、雰囲気をつくってくれた」等が挙げられた。想像していた以上に、先輩SAをモデルに学習していることがうかがわれた。

平成30年度は、学内の先生方のご理解のもと12科目でSA総数17名を活用した授業が行われた。SAを活用することによる授業の受講生への効果、さらにはSA自身への効果を先生方が感じてくださっていることを願いたい。

● Table 1 平成30年度SA採用者及びSA活用授業

期間	授業名	学部	学年	人数
前 期	ピアサポート実践	人文	4年	2名
	キャリアプランニング入門	人文	4年・3年	2名
	キャリアプランニング入門	医(看護)	2年	1名
	知財学	工	3年	1名
後 期	留学生支援実践	人文	3年	2名
	ピアサポート実践	人文・教育	3年・4年	2名
	学生生活支援実践	人文	3年	1名
	広報誌編集実践	生物資源	4年	1名
	キャリアプランニング入門	人文	3年	1名
	アントレプレナー論	工	4年	1名
	こころのサポート	教育	3年・4年	2名
	AIーポジティブ思考法ー	教育	3年	1名
合計				17名

2018年度
入学者用

キャリア.

ピアサポーター

資格取得ガイド

あなたも
キャリア・ピアサポーターに
なろう!!



申請ってどうするの？

資格認定までのステップ

STEP 1

キャリア・ピアサポーター 資格申請書を提出

HPでダウンロードできます！
<http://www.mie-u.ac.jp/life/peer/license.html>

定められた時期までに、
キャリア支援センター(就職支援チーム)に提出します。
【提出場所:総合研究棟II1階キャリア支援センター(就職支援チーム)】

2018年度における資格申請期間

【前期末申請】

7/24(火)~8/6(月)

【後期末申請】

1/28(月)~2/8(金)

STEP 2

学生総合支援センター会議による審査

【資格認定基準】

- 資格認定要件となる授業において単位を取得していること。
- キャリア・ピアサポート活動に従事するに当たり、十分な意欲と素養を備えていること。

STEP 3

基準を満たす学生に対して、 初級資格、または上級資格認定証を授与

資格認定者の発表は、前期末申請分については9月下旬、後期末申請分については次年度4月下旬を予定しています。

Special Step

SA(Student Assistant)申請

上級資格取得者のみ申請でき、審査を受け、任用されます。

資格取得に関わる科目を選ぼう！

初級資格取得に必要な科目

必修科目(2科目) ◆スタートアップセミナー ◆キャリアプランニング入門



選択科目(1科目)

下記から1科目選んでください ※1科目修得の科目は2科目選択して修得した場合は合計3科目

- ◆留学生支援実践(国際理解実践S)
- ◆障がい学生支援実践(現代社会理解実践S)
- ◆ピアサポート実践
- ◆学生生活支援実践
- ◆広報誌編集実践
- ◆大学紹介実践
- ◆キャリアイベント実践
- ◆社会連携型実践

全部で
3科目!



上級資格取得に必要な科目

必修科目(2科目) ◆学習支援実践 ◆こころのサポートまたはA-Iポジティブ思考法(心理学S)



選択科目(2科目)

下記から2科目選んでください ※1科目修得の科目は2科目選択して修得した場合は合計4科目 ※2科目修得の科目は3科目選択して修得した場合は合計5科目

- ◆留学生支援実践(国際理解実践S)
- ◆障がい学生支援実践(現代社会理解実践S)
- ◆ピアサポート実践
- ◆学生生活支援実践
- ◆広報誌編集実践
- ◆大学紹介実践
- ◆キャリアイベント実践
- ◆社会連携型実践
- ◆インターンシップ入門
- ◆キャリア形成論
- ◆企業研究入門
- ◆アントレプレナー論(日本理解特殊講義S)
- ◆地域と仕事(日本理解特殊講義S)
- ◆知財学

全部で
4科目!



※選択必修科目や選択科目については毎年変更されますので履修案内にて確認してください。いずれの年度に習得した単位であっても認められます。

3 資格取得を目指した履修スケジュールを確認しよう!

例1

1年前期

- ◆スタートアップセミナー
- ◆キャリアプランニング入門
- ◆ピアサポート実践

Advice

前期末に初級資格申請をしたいから、前期に実践科目を履修しよう。

初級資格
認定!

1年後期

- ◆こころのサポート
- ◆留学生支援実践
- ◆広報誌編集実践

Advice

上級資格に必要な選択科目の単位を1年後期に取ってしまおう。

2年前期

- ◆学習支援実践

Advice

2年前期に上級資格の必修科目の学習支援実践を履修しよう。

上級資格
認定!

2年後期から
SAに!

2 キャリア・ピアサポーター 資格教育プログラムを受けよう!

Goal!
SA
(Student Assistant)

こんなことに
チャレンジできます!

★実践形式の各キャリア科目において、教員の授業補助や、受講している学生のサポート業務を担当できる!

グループ活動をどうやって進めていけばよいかを学べ、就職してから役立つ力が養える!

こんなことに
チャレンジできます!

- ★大学生活についての相談活動
- ★学生同士の交流や大学活性化、キャリア支援を目的としたイベント企画実施
- ★修学支援活動の企画実施
- ★学内機関や学生団体とのコラボレーション

Step up!
上級資格取得者

Step up!
初級資格取得者

Start!
全学生

資格を取得してからの自分の変化!

自ら
行動する力が
つく!

学部・学年を越える
仲間と出会い、
高めあえる。

より充実した
大学生活に!!

各講義の開講時期は年度により異なりますので履修案内で必ず確認してください。

例2

1年前期

- ◆スタートアップセミナー
- ◆キャリアプランニング入門

2.1vica

初級資格と上級資格に必要な単位が足りるように、1年後期に、キャリア科目をたくさん履修してみよう。

1年後期

- ◆学生生活支援実践
- ◆こころのサポート
- ◆障がい学生支援実践
- ◆企業研究入門

初級資格
認定!

2年前期

- ◆学習支援実践

2.1vica

2年前期に、上級資格の必修科目の学習支援実践を履修しよう。

上級資格
認定!

2年後期から
SAに!

資格取得を通して社会人としての 「実践力」を身につけよう!

大学までの勉強では知識の獲得が最も重視されますが、実際に社会に出てみれば、

知識量だけでなく、獲得した**知識に基づいた実践のための応用力が求められる**ようになります。

しかしながら、こうした能力を身につけるためには、ただ漫然と授業を受けるだけではなく、

学生時代に様々な取り組みに主体的に参加することで、経験を通して積み重ねていかなければなりません。

三重大学では、「生きる力」の養成や自身のキャリア形成につながる様々な授業科目を用意しています。

また、所定の科目を履修した学生に対しては、「**キャリア・ピアサポーター初級資格**」。

および「**キャリア・ピアサポーター上級資格**」を認定します。

「キャリア・ピアサポーター」資格を取得した学生は、授業補助等で教員のサポート役を担う

「SA(Student Assistant)」をはじめ、学生が同じ学生を横の関係で支援する「なんでも相談活動」や、

各種修学(授業)支援、アカデミックフェアやキャリアイベントといった各種イベント企画など、三重大学の活性化にも

つながる様々な活動に参加してもらうことで、その力を発揮することができます。さらには、こうして学内の様々な

現場を「職場」として体験することを通して、就職活動に不可欠な“対人関係能力”や“コミュニケーション能力”といった

能力を身につけていくこともできるでしょう。

あなたも、「キャリア・ピアサポーター」資格を取得して、一緒に三重大学を盛り上げていきませんか。

そして、**あなた自身の「実践力」を伸ばして**いきませんか。



三重大学の学生支援オリジナルマスコットキャラクター
「三重大サポム」

VII

学生総合支援センター主催行事

学生総合支援センター主催行事① 学生支援サミット2018

趣旨

年に一度、三重大大学の学生・教員・職員がともに大学をより良いものとして行くために協働して議論を行う機会として開催しています。本年度は、サブタイトルに「魅力ある課外活動の未来をともに展望しよう」を掲げ、今後のより魅力ある課外活動の実現を目指し、サミットを開催しました。

テーマ・内容

『課外活動を活性化させるために自分たちができること』を今年度のテーマとし、事前アンケートの結果をもとに設定された課題(①「メンバーを増やすには&団体へのコミットメント・団結力を高めるには」、②「設備使用にあたっての改善案や工夫、それによってもたらされるもの」)に対して、「自分たちは何ができるか」という主体的な参画の手段や方法について、学生と教職員が協働して検討しました。グループでまとめたアイデアはパワーポイントを用いて形にし、発表及び参加者全体で議論しました。

日時・場所

日時：平成30年7月4日(水)13:30～16:00

場所：メディアホール

当日の参加状況

学生支援サミット当日の参加者数は、学生57名、教員16名、職員22名の、計95名でした。

参加者によって出された「課外活動の活性化」のためのアイデア

- ・(課外活動の情報についての)アプリ作成による情報の一元化。
- ・ばせお、食堂、メープル等でカフェとコラボしながら交流の空間を作る。
- ・全部活サークルの存在の周知、団体ごとの情報の偏りの軽減を目的とした、部活・サークル紹介冊子の作成。
- ・(1)「部活動紹介会」等の名称の変更、(2)二日間の開催日時、(3)複数会場の使用、(4)冊子等での事前周知、といったレセプションの改善案。
- ・部員の負担・拘束の軽減、地域貢献に対する支援に向け、(1)学内において活動実績を報告する場を作り、また地域の声を聞く、(2)活動が軌道に乗るまでの数年間一定額の支援を行い、活動拠点の充実を図る。それによって、設備環境の充実、部員のモチベーションの向上、活動の充実、新入部員の増加につながる。

「学生支援サミット2018 ～魅力ある課外活動の未来をともに展望しよう～」が開催されました

2018年7月9日

7月4日(水)、総合研究棟Ⅱメディアホールにおいて、「学生支援サミット2018 ～魅力ある課外活動の未来をともに展望しよう～」が開催されました。



本サミットは、学生・教員・職員が協働しながらディスカッションを行い、より良い三重大学となるよう考えていく貴重な機会として、学生総合支援センター主催で毎年開催されているイベントです。本年度は「課外活動を活性化させるために自分たちができること」をテーマに、学生・教職員合わせて約95名が参加し、学生総合支援センター障がい学生支援室 風間惇希講師の進行のもとサミットが行われました。



冒頭、駒田美弘学長から「独創的で想定外の意見がでてくることを期待しています。」と開会の挨拶がありました。

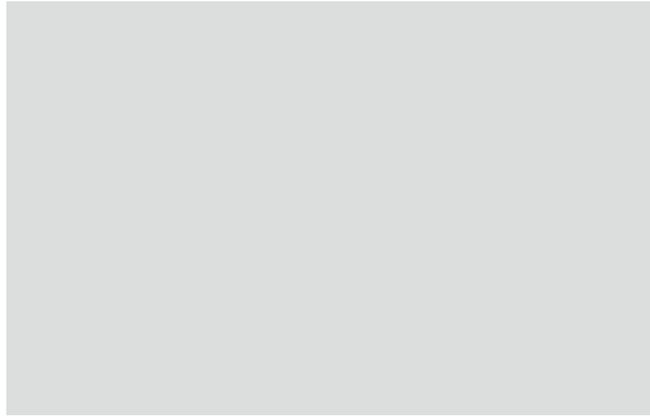


続いて、学生総合支援センター学生生活支援室長の名田和義准教授より「実現の可能性があるリアリティな議論になるように活発なディスカッションをしてください。」と挨拶がありました。

「課外活動のメンバーを増やすには&団体へのコミットメント・団結力を高めるには」、「設備使用にあたっての改善案や工夫、それによってもたらされるもの」の2つの課題テーマのもと、学生・教職員を交えた10グループに分かれ、話し合いが行われました。

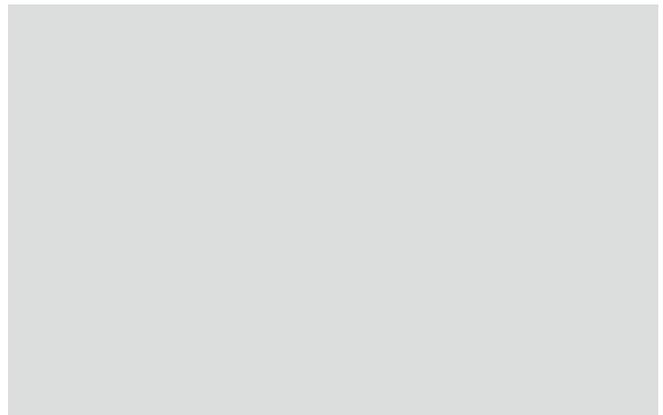
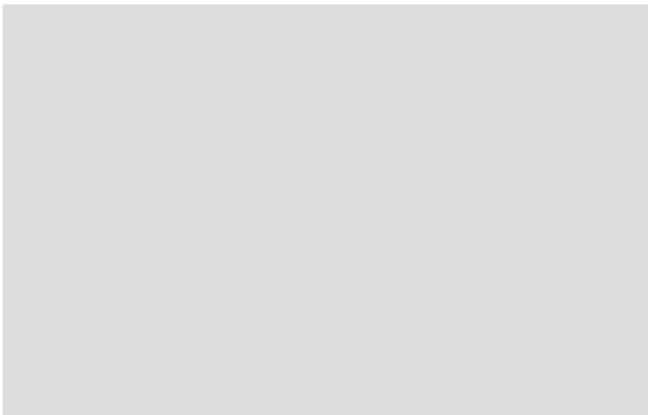


会場内ではカフェサークル「Le Lien」のコーヒー・紅茶も振舞われ、和気あいあいとした雰囲気の中で、各自の実体験も交えた活発な話し合いが行われました。

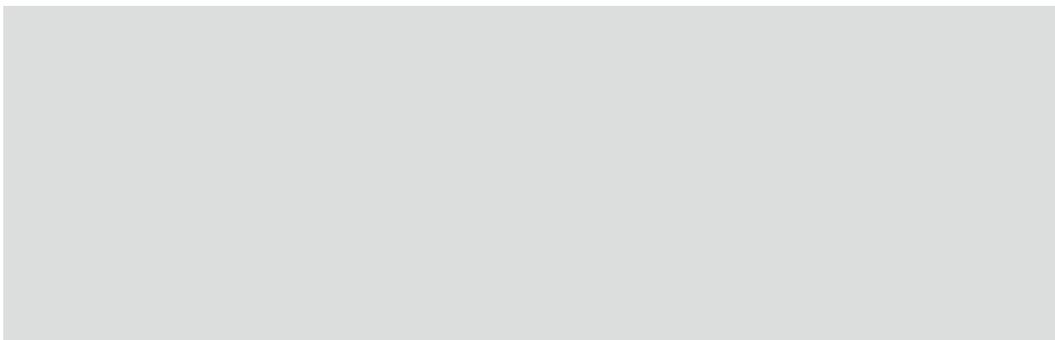


ディスカッション後の発表では、各チームから個性あふれるアイデアが発表されました。課外活動のメンバーを増やすためには「1年生へ向けて各課外活動の魅力を伝えるため、春にも学園祭のようなイベントを計画する」、団体へのコミットメント・団結力を高めるためには「交流の場として学内にカフェを作る」などの意見が提案されました。設備使用については「各団体が集まり、設備改善を話し合う場を設ける必要がある」などの意見が発表されました。

発表後には参加者投票により、「最優秀グループ」が選ばれ、表彰が行われました。



最後に野崎哲哉副学長から「課外活動を通して成長しているのだと感じた。今後も主体性と創造性の発揮をしていってほしい。」と閉会の挨拶がありました。



今後の進展が期待される有意義なサミットとなりました。



ディスカッション後の発表では、各チームから個性あふれるアイデアが発表されました。課外活動のメンバーを増やすためには「1年生へ向けて各課外活動の魅力伝えるため、春にも学園祭のようなイベントを計画する」、団体へのコミットメント・団結力を高めるためには「交流の場として学内にカフェを作る」などの意見が提案されました。設備使用については「各団体が集まり、設備改善を話し合う場を設ける必要がある」などの意見が発表されました。

発表後には参加者投票により、「最優秀グループ」が選ばれ、表彰が行われました。



最後に野崎哲哉副学長から「課外活動を通して成長しているのだから感じた。今後も主体性と創造性の発揮をしていってほしい。」と閉会の挨拶がありました。



今後の進展が期待される有意義なサミットとなりました。

学生総合支援センター主催行事② アカデミックフェア2019

趣旨

三重大大学の学生の学習や研究の成果、地域や高大連携、課外活動、支援活動等の実践について、三重大学関係者をはじめ、市民に対して広く紹介する機会とすることを目的として年に一度開催しています。

日時・場所

日時：平成31年2月12日(火)13:30～16:00

場所：三重大学講堂(小ホール・ホワイエ)

当日の参加状況

学生支援サミット当日の参加者数は、学生95名、教員19名、職員24名、企業担当者(学外)9名の、計147名でした。

内容

①シンポジウム「三重大生による三重大生のための学問のすすめ—私の研究紹介や心構えあれこれ—」各学部・研究科の代表学生が、自身の研究内容を紹介するとともに、学修・研究に取り組む上で大事にしていることやモチベーションの形成・維持の方法、これまでの経緯、学生に向けたメッセージ等について口頭で発表しました。各学部・研究科の発表者は以下の通りです。

- ・伊藤良美(人文学部法律経済学科3年)『社会内矯正命令の導入による高齢犯罪者対策』
- ・井澤杜都(教育学研究科教育科学専攻M1)『国語科における自覚的な言語主体の育成』
- ・弓削瑞葵(医学部医学科5年)『細胞に生える「一次線毛」の形成制御機構の解明』
- ・山田貴也(工学研究科物理工学専攻M1)『モータ製造ラインにおける不良品判別システムの構築—地元企業のラインへの導入—』
- ・吉村英翔(生物資源学研究科資源循環学専攻D3)『アシナガバチのカースト決定機構』

②ポスター発表&ディスカッション

卒業研究2件、専門教育10件、教養教育11件、支援活動2件、課外活動5件、地域連携1件の計31件によるポスター発表及びディスカッションを行いました。

アカデミックフェア2019発表一覧

No	発表形式	氏名	所属	学年	発表分野	タイトル
1	シンポジウム	伊藤良美	人文学部法律経済学科	3年		社会内矯正命令の導入による高齢犯罪者対策
2	シンポジウム	井澤杜都	教育学研究科教育科学専攻	修士1年		国語科における自覚的な言語主体の育成
3	シンポジウム	弓削瑞葵	医学部医学科	5年		細胞に生える「一次線毛」の形成制御機構の解明
4	シンポジウム	山田貴也	工学研究科物理工学専攻	修士1年		モータ製造ラインにおける不良品判別システムの構築—地元企業のラインへの導入—
5	シンポジウム	吉村英翔	生物資源学研究科資源循環学専攻	修士3年		アシナガバチのカースト決定機構
1	ポスター	倉井美季 他	医学部看護学科	4年	卒業研究	意思表示困難な患者の痛み察知における看護師の着眼点
2	ポスター	西井亮太郎	教育学研究科教育科学専攻学校教育領域	修士1年	卒業研究	「諦めること」と人生満足感および主観的幸福感との関連—経験に対するわりきり志向に着目して—
3	ポスター	岡野将成 他	人文学部法律経済学科	3年	専門教育	日本企業の求めるインバージョン
4	ポスター	橋本真奈美 他	人文学部法律経済学科	3年	専門教育	多様な人材を活かし、持続可能な経営へと導く
5	ポスター	新谷太祐 他	人文学部法律経済学科	3年	専門教育	次世代共創マーケティング
6	ポスター	山田紘平 他	人文学部法律経済学科	3年	専門教育	地域活性化における地域金融機関の役割
7	ポスター	久保田実里 他	人文学部法律経済学科	3年	専門教育	キャッシュレス化と仮想通貨
8	ポスター	吉森靖晃 他	人文学部法律経済学科	3年	専門教育	雇用身分社会と子供の貧困
9	ポスター	高橋宏輔 他	人文学部法律経済学科	3年	専門教育	中国経済の現状と今後の展望
10	ポスター	後藤柚葉、林優里	教育学部学校教育コース教育心理学専攻	3年	専門教育	防衛的悲観主義と自己卑下呈示が対人関係に及ぼす影響

No	発表形式	氏名	所属	学年	発表分野	タイトル
11	ポスター	岩田倫佳	教育学部学校教育コース教育心理学専攻	3年	専門教育	大学生の親子関係と両親の夫婦関係評価が恋愛観に及ぼす影響
12	ポスター	柴原里奈、山口彩華	教育学部学校教育コース教育心理学専攻	3年	専門教育	三重大学教育学部生の教育実習経験による「ナベツ」の変容
13	ポスター	川口楓茉 他	工学部機械工学科	1年	教養教育	条件付き給付金(CCT)という新たな可能性
14	ポスター	池口博人、藤原里紗	人文学部文化学科	1年	教養教育	謝罪の形成—第二次世界大戦後のドイツと日本の比較—
15	ポスター	「学習支援実践」受講生	-	-	教養教育	「生活の豆知識ハンドブック」の作成
16	ポスター	「留学生支援実践」受講生	-	-	教養教育	恵方巻づくりを通じた留学生支援実践
17	ポスター	廣真琴 他	教育学部	1年	教養教育	留学生かるた大会
18	ポスター	松浦佑里香 他	人文学部	1年	教養教育	法律経済学科・文化学科 交流会
19	ポスター	伊藤佳奈 他	教育学部	3年	教養教育	新入生に送るアルバイトのすすめ
20	ポスター	水野勝仁 他	人文学部	1年	教養教育	災害意識を高めるための防災グッズ作成について
21	ポスター	井上未結 他	人文学部	1年	教養教育	一人暮らしの学生支援(野菜保存の観点から)
22	ポスター	肥土琴子 他	人文学部	1年	教養教育	「広報誌編集実践」報告1
23	ポスター	山口詩織 他	人文学部	1年	教養教育	「広報誌編集実践」報告2
24	ポスター	鈴木翔也	人文学部	2年	支援活動	ピアサポーター学生委員会 今年度活動について
25	ポスター	廣真琴	教育学部	1年	支援活動	三重大学バリアフリーマップの作成について
26	ポスター	守谷良輝	人文学部法律経済学科	2年	課外活動	日本福祉大学との交流会
27	ポスター	堀叶実、西村友里	医学部看護学科	2年	課外活動	三者三様—海外渡航経験、国際関連科目の受講による海外へ関心の違い—
28	ポスター	西村祐樹	工学部	4年	専門教育	ロボコン部 M3RC 紹介・成果発表
29	ポスター	阪祐治	工学部	2年	専門教育	環境ISO学生委員会の活動紹介
30	ポスター	藤田美来	生物資源学部資源循環学科	2年	課外活動	Chat over a cup!
31	ポスター	山下響	人文学部法律経済学科	2年	地域連携	津市美杉町の活性化

「三重大学アカデミックフェア2019」を開催しました

2019年2月19日

2月12日(火)、三重大学講堂の小ホール及びホワイトエにおいて、「三重大学アカデミックフェア2019」を開催しました。

アカデミックフェアは、三重大学の学生の学習成果や研究成果、地域連携や高大連携、支援活動等の実践、課外活動の成果について、三重大学の関係者をはじめ、市民の方々、企業の方々に対して広く紹介する機会として学生総合支援センターが毎年開催しています。準備・運営には、風間惇希講師、ピアサポーター学生委員会及びACS学生委員会が関わり、当日の司会進行も担当しました。今年度の司会は、ピアサポーター学生委員会の藤田ひなのさんと高野裕子さんが務めました。



はじめに駒田美弘学長より開会のご挨拶をいただき、「これまで頑張ってきた研究成果を相手に伝えるようにプレゼンテーションをすること、また自分の分野外こそ自分の役に立つことが多いので、多くの質問をしてお互いに高め合いましょう」と発表への期待と激励のお言葉をいただきました。



続いてシンポジウム「三重大学生による三重大生のための学問のすすめー私の研究紹介や心構えあれこれー」では、各学部・研究科の代表学生5名が専門性の高い研究や実践の口頭発表を行いました。オープンディスカッションでは、研究活動のきっかけやモチベーションの保ち方、今回の研究を今後どう活用していくかなど、さまざまな質問が出され、活発なディスカッションとなりました。



その後ホワイエに移動して、31件のポスター発表・ディスカッションが行われました。参加者は各ポスターの前で発表者の説明を聞きながら発表内容についての議論を行い、活発に交流していました。



また、ホワイエではカフェサークル Le Lien(ルリアン) がオリジナルブレンドコーヒーと紅茶をふるまい、雰囲気を和ませていました。



閉会の挨拶では、野崎哲哉副学長から、「貴重な学びの場である大学で、学生の皆さんがキャリア発達するために今回のような研究発表の機会を活かしてほしい。そして社会の変化は激しいので、常に問題意識を持ち、よりよい社会をつつていかなければいけないという気持ちで学業に励んでほしい」というお話がありました。



学生への支援

●「三重大学における学生支援の基本方針」等の策定

学生総合支援センターが中心となり、経済的困窮学生に対する修学支援や生活支援、就職支援、学生相談等の幅広い活動を行ってきた。しかし、これまで、学生支援に係る活動方針が明文化されていなかったことから、「三重大学における学生支援の基本方針」を策定し、公表した。この方針の策定にあたっては、「教育目標の実現に向けた学生支援」「安心・充実の学生生活の実現に向けた学生支援」「相談体制の充実と課題の解決に向けた学生支援」「全学の支援体制整備と連携を通じた学生支援」「学生自身の活動を通じた学生支援」の5つの観点から、これまでの活動を整理し、明文化した。また、これを受けて、「学生総合支援センターにおける学生支援方針」を併せて策定し、大学全体として支援していくべき事を可視化した。

さらに、「三重大学における学生支援の基本方針」に則り、各部署の責任体制を明確化した「三重大学における障がいのある学生の支援に関する基本方針」を策定した。

●授業料免除制度の見直し

就学困難者の経済的支援を拡充するため、平成30年度は独立生計者を対象とする授業料免除の判定基準を見直した。これを含め平成28年度以降、授業料免除制度を見直しており、平成30年度の授業料免除の申請者数は前年度の2,024名から2,072名に増加し、免除対象者数は前年度1,596名から1,688名に増加した。

また、今年度から新たな奨学金制度として、入学料免除適格者でありながら予算制約のため免除を受けられなかった学生に対して、返済不要の奨学金を支給する「三重大学入学特別奨学金制度」を実施し、申請対象者数171名のうち10名に奨学金5万円を支給した。この奨学金は平成28年度に設置した「三重大学修学支援事業基金」を財源としており、本学独自の制度による経済的支援を拡充することができた。

●障がいのある学生の支援に関する取組

障がいのある学生の支援体制を強化するため、本年度から障がい学生支援室に専任の事務職員2名を新たに配置し、教員と事務職員が協働して障がいのある学生を支援する体制を整備した。また障がい学生支援室と学生総合支援センター長、各部署の監督者と学務担当係長で構成する「障がい学生支援調整会議」を開催し、各部署の責任体制と支援方針を明確化した「三重大学における障がいのある学生の支援に関する基本方針」を策定するとともに、各部署の障がいのある学生に対する支援状況等について情報を共有した。

このほか、学生の障がいに応じた修学支援を入学後早期から開始するため、障がいのある学生の入学に際して、入試チーム、各学部の学務担当者、教員、当該学生、保護者との面談を実施し、修学に関する情報提供や支援内容の相談を行った。また、就職支援チーム、保健管理センター等の各担当者、各学部の学務担当者や教員との連絡を密に行い、障がいのある学生の支援に関するコンサルテーションなど障がいのある学生に対するきめ細やかな相談支援に取り組んだ結果、延べ560名の障がいのある学生の相談等に対応することができた。

また平成30年度より、障がい学生支援室サポーターの団体名称を「ACS学生委員会(障がいに関する学生委員会)」(ACS:Accessibility and Communication Supporter)と改め、ACS学生委員会(登録者数:32名)の学生は、他大学との交流会を通じて、ノートテイク・パソコンテイク等の技能を習得するほか、車椅子を使用した場合の利用しやすさに関する施設情報を含めたバリアフリーマップの作成を行った。



三重大学学生総合支援センターホームページ
<http://www.mie-u.ac.jp/life/>

国立大学法人 三重大学
問い合わせ先／学生総合支援センター
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL:059-231-9679

三重大学life

click